

斐太後風土記

大野郡

卷之八  
卷之九

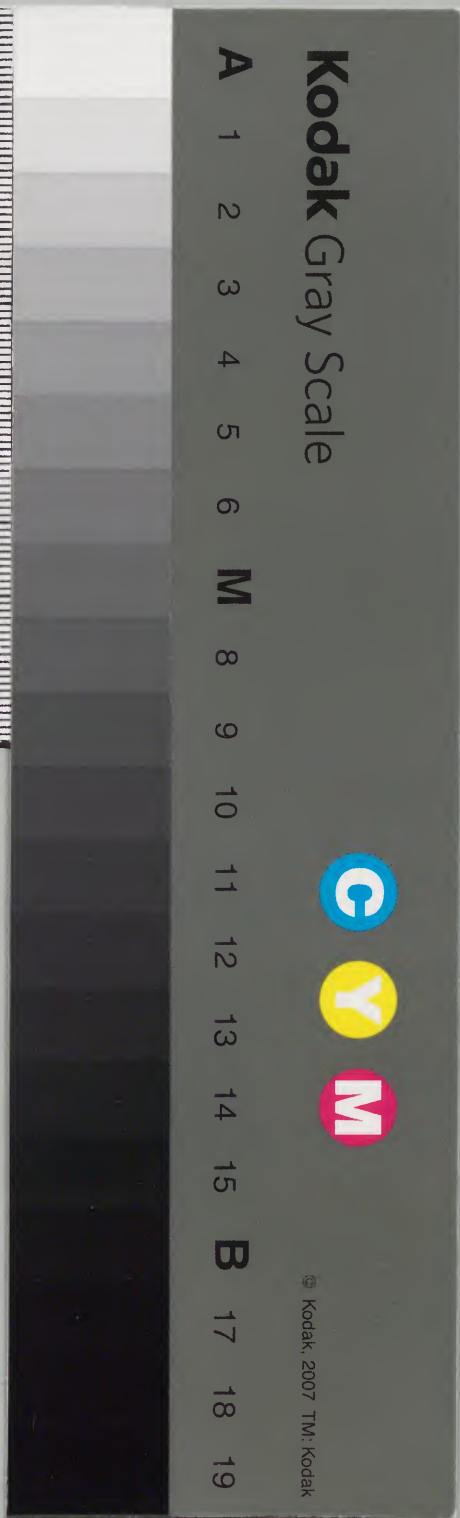
和書門	二二六〇四	函號	二〇	冊
-----	-------	----	----	---

和書	二二六〇四	冊號	二〇	函架	七四
----	-------	----	----	----	----



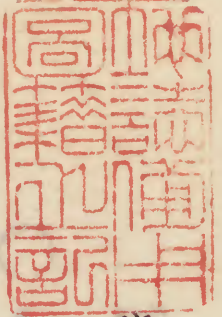
地八

内閣文庫		
番號	和	22604
冊數	20 ( 8 )	
函號	174	191





73



斐太後風土記卷八

小鳥郷

富田礼彦謹撰

小鳥郷ハ和名抄ナル大原郷ヲ、年代後ニ分タル郷名ナルヘシ、當郷ハ、

荒山中ノ村里ニ平ツネニ生小鳥ノムレテスム地ナレバ、名ニ負ツネニシカ又ハ

今ツネニモツネニ古言ノ一、乎度利トイヘバ、白山鷲ガ嶽、森茂嶽等ナル

小鳥ノ冬春ハ里山へ出テ、霜雪ヲ避テ、里方ノ川上、三枝灘郷等ノ外山へ

通フヲ、海中ノ船路、山中ニハ、猪鹿ノ路アル如ク、何國ノ捕トルニハ、阿多野郷、竹原郷ノ、

村々ノ如ク、媒鳥ヲ平生飼置テ、秋末初冬旬、山ノカヒ峡ニ、鳥羅ヲ張ハリ、

其媒鳥ヲ籠カゴノ一、掛カケ才ケバ、其聲ヲ聞テ、衆鳥ノ郡シ来ルヲ捕トル

ワサハ、上古ヨリスル一ナレバ、小鳥ハ、ソノラドリ其媒鳥和名抄ヲ、平生飼置レ

借字ニテ其媒鳥乎度利ヲ、平生飼置レ



村々ユエニ自然名ニ負テ、オノツカラ媒鳥ノ郷ト稱シナラム、美濃国池

田郡ニモ小鳥郷和名抄ニイデアリ、伊福山ニ近キ郷ナリトゾ、或人ハ

媒鳥ヲ懸テ、鳥ヲ捕シ郷ナラハ、鳥取ノ郷ナト、コソ云ヘケレト

テラシソト、其ハ、姓氏録中巻ノ六十八云、鳥取部連、角凝魂命三世孫

天湯河析命之後也、垂仁天皇、皇子、蒼津別命、年向三十

不言語于時見、飛鵠問曰此何物、爰ニ天皇悅之、遣天湯河析

尋求、詣出雲國、宇夜江捕貢之、天皇大喜、即賜姓鳥取連

トアルハ、勅命ヲ奉テ、彼大鳥ヲトリテ、献シニテ事殊ナルヘシ

○德永郷小鳥ノ号ヲカヘテ唱ヘシトモ、中昔アリシト見エ侍ル、弘誓寺蓮寺東等寺慧林寺等本尊裡書

出ニ其ハ、四國ノ河野氏ノ支族ニ、南朝ノ名臣、土居氏、得能氏、德永氏アリテ

土居ハ小八賀郷殿垣内村、得能ハ川上郷牧ヶ洞村、德永ハ當郷内

ニ住テ、水洞嶺ヲコエテ有巢組三箇村ヲモ領セシ故、其家名ヲ、郷名ニ

トナヘテ、其ノ子復古ノ小鳥トナラム

○小鳥郷六箇村

上小鳥 復厩 二本木 池本 江黒 大谷

高合三百四十石五斗四升六合 御年貢皆金納

家百四十戸 人九百餘人

小鳥川 上小鳥山ヨリ流出郷中北流吉城郡舟原村ニ至

魚 鱈 ハユ 石魚 鱒 イハナ 雜魚 ガツコ 鮠 ウケ





山畑夜守

山畑夜守

深山ノ村々、小鳥郷、白川郷、川上郷、奥龍ヶ峯前ヲ始、三郡深山ノ  
 村里オシテ居村ノ本田畑ヨリハ、焼畑ノ雑穀作毛多ケレバ、初秋  
 穂ノ出ル頃ヨリ、山中ニ小屋ヲ掛テ、老人兒等ニ、家ヲ預ケ置、村中ノ  
 男女オノカジシ、山畑ノ小屋ニ一人宛別レ行テ、ヨナノ守リ、紫山子  
方言ニ猪ノラ立、夜モスカラナルコ鳴子方言土字ヲヒキ、シニブエ猪笛ヲ吹、桐木ヲ以テ造ル  
曾未ト云等ヲ打鳴シ、不斷聲ヲ揚テ、豆ト云猪ヲ驚カシ、ニゲサラ逃去シ、火吹竹ノ如シ焼畑多ク、小屋  
 數モ多キ山ニテハ、ヲチヨチ遠近ノ夜守ノ男女處々ニテ、ヨモリ鳴物ヲナラシ、カクミ互ニ声ヲ  
 ハリアゲ呼カス故、モリサビシ、ヨモリ初秋ヨリ、カリアゲ募秋穀物ヲ刈上ルニテハ、ネイリナカクハ、ハニギハヒテ山小屋  
 ハニギハヒテ、モリサビシ、ヨモリ村里ハ寂寥、夜守ノ者小屋ニテ、ネイリ熟睡スレハ、ネイリ其ヲ不ラヒヨリ、





○ 樺 訛リテ  
氷と油で作る  
輪棒は不  
鉄の作りマ  
草鞋の下に足  
袋挿す  
○ 腰中  
○ 福古太  
○ 猪 野 猪



萬子 贈  
身 髻 未 振  
排門 野 雪 海  
郊 墟 朝 来 山  
猫 知 多 獲 先  
向 寒 邨 問 野 猪  
以 節 家 篇 作

○ 山 川 通 河 の 脇 差  
の 一 柄 を 朝 来  
つり 孫 母 子  
ま ね たり  
○ 草 鞋 記  
その せ び せ び  
た り が せ び せ び  
る あり つり  
よ へ せ び せ び  
○ 猪 狩  
之 圖



猪来テ、作毛ヲ食アラス故、終夜聊怠ラス、聲ヲアゲ、鳴物ナラシ  
 テ、猪ヲ追コトハ、里ノ村々ノ、平田ニ稻ノ三作ル、農民ヨリハイツツキ  
 如何バカリカ多カラム、同國ニ生レナガエ、生涯稗ノ三食ヒテ、苦勞  
 スル山中ノ村民ト、米穀アテタ作り、山小屋ノワビシサヲモシラスレテ、  
 家ニ三寢テ取上ル民トノ損得、何レトカイハム、實ニ深山中ノ村民ノ  
 辛苦、想像ヲ憐ムベキ事ナリケリ、

猪狩  
 小鳥郷、白川郷、川上奥ノ村々ニテハ、多ク焼畑ヲ作り、秋毎ニオコラズ  
 夜守ハスレト聊ノ隙ヲ考ヘ、猪ヲリノ、出テ、作毛ヲ食アラス故、村民皆々  
 猪ヲ惡ム、恰モ怨敵ノゴトシ、獵師ナキ村々ニテハ、冬ヲ待居テ、初雪





降積ハ山中ノ猪群猪兒ヲ伴ハ雪ノ少キ、益田郡、又ハ義濃國ノ  
 郡上郡ノ山々ニ移リ栖ムトテ、出行ヲ見テ、村々ノ若男等、急ニ村中ノ  
 シリ誘ヒ合セ、身ヲ固メ、櫂ヲハキ、鎗引サゲテ、各驅出、山壑林藪ノ  
 イトヒナク馳廻リ、猪ヲ逐ツメテ、一人ニテ突留ルモアリ、兩三人ニテ  
 突留シハ一番鎗又ハ二番三番ト先後ノ功ニ寄、猪肉ヲ屠リ頒テ、  
 各食用ニモシ、高山町其外ヘモ賣出ス、雪中山猪ヲ見レバ、村民  
 コゾリ集テ、喜ブト限ナク、鎗提驅ユク猛勢恰モ勇士ノ戰場ニ向ヒ  
 タラムガ如シ山中ノ一奇觀トヤ、云ヘカラム、

上小鳥村 カミラドリ

燒畑一町一段四畝廿步

縦十一町四寸  
横一町三寸

外一町六段九畝十步享保十二未年渡

高二十三石五斗八升五合

山林段別木數不詳

家十九戸

人百二十餘人

産物

大 三目  
小 十九目 蕨

猪

五 二石  
五斗 五斗 油

舞茵

布 八十二反

東方山

西方山

南方六厩村へ二里半

北方夏厩村へ半里

村名義ハ小鳥郷中ニテ、最高地ナル村ナレバ、上小鳥村ト云レナル

米三十石  
 稗百七十石  
 大豆十四石八斗  
 小豆一石五斗  
 蕎麥十石二斗  
 粟二石二斗  
 白芋五石  
 菜七百八目  
 麻三十目  
 李梨栗椽  
 大ニ三目  
 小ニ五十九目  
 布八十二反  
 稲筵廿四束



ベレ 小鳥テフコハ郷ノ名義ニ  
記シタルコトク侍ベレ

産土神八幡宮

奈神應神天皇御靈

境内二段歩 除地

弘誓教寺 東本願寺宗高山照蓮寺末  
明應四乙卯年開基

本尊阿弥陀如来 哀書本願寺実如在判飛騨国大野郡徳郷小鳥願主教誓  
境内屋敷一畝廿六歩 元禄七甲戌年檢地名受道場七座左五門同十二己卯年除地其後今ノ

唐笠山 反橋山 奥巢原

草

木檜 黒檜 姫子 桂 栗 檜 杉

鳥 鷺 鷓鴣 鷹 雀

獸 熊 猪 兔 猿

魚 石魚 雜魚

小鳥川 唐笠及反ハレノ山ヨリ流出  
北流夏廐村ニ至

小鳥野

夏廐村

縦十五町  
横一町

焼畑一町歩  
外二町歩

享保十二未年渡

高三十六石七升五合

山林段別木數不詳

家十九戸

人百十餘人

産物 上小鳥同 大ニ五  
小ニ五

布八十反 カニムレロ一束 猪一足  
スカムレロ五束 ニス 八五 アケメ

米四十七石四斗  
稗百五十三石ヨ  
大豆七石二斗ヨ  
小豆三石二斗ヨ  
粟五石六斗  
蕎麥三石六斗ヨ  
苳二石  
弘法禪四石六斗ヨ  
白芋二石  
菜四百二十五目



麻二十八日  
李梨粟楢  
大ニニ目  
小ニニ目  
布八十反  
稻葉二十四束  
菅葉五束  
蒲葉一束

東方牧ヶ洞村へ峠越二里

西方山

南方上小鳥村へ十丁

北方二本木村へ十丁

高山五里

村名義ハ此小鳥郷ノ村ニ古レヘヨリ、馬ヲ野飼ノミニテ、冬ノ秣トクハ、  
稗糠又ハ稗殻ヒエノカナド有合品ヲ食セケルガ蓮徳寺ノ先祖何某、  
耕作ニ心ヲ用ヒテ、夏草ヲアヘタ、刈テ乾置テ冬ノ秣ニ食セ  
其厩ノ肥ヒツモテ羽立之年田畑ニカケレニ、穀物豊熟ケレバ、村中家毎  
ニ、其二羽ヒケルヲ見テ、夏ノ中ニ心ヲ用ヒテ、冬ノ厩ノ糧迄タクハ、  
作毛モ豊饒ナルヲ、他村ヨリ羨ミ、夏厩村ト称シトゾ、

産土神八幡宮

祭神應神天皇御霊  
境内一町三段廿步 除地

祭日 氏子 夏厩村  
二本木村  
徳永氏ノ勸請ニヤ有巢組モ同シ

驛舎 高山ヨリ伯諸関并越前國往還

高山 三里 牧ヶ洞 二里 夏厩 三里 六厩

蓮徳教寺 東本願寺宗 高山照蓮寺末  
長亨三巳酉年開基

本尊阿弥陀如来 東書本願寺蓮如在判、飛驒國大野郡徳長郷夏舞願、主善性、  
境内屋敷四畝十三步 除地

蓮徳寺所藏ノ古文書數通、飛州志ニ載タル内、栗原衛門ノ田ノ賣券  
札ハ、文安年中、蓮徳寺開基以前ノ先祖隣村  
ノ故、栗原ノ田ヲ買受タルニヤ侍ラム、其後牧ヶ洞村了徳寺へ譲リ

レニヤ、其後ノ住持、先年散賤シテ、什物モ雜具モ賣拂シトゾ、  
其頃古文書モ賣レニヤ、今ハ一通ダニナシトゾ、



米百九石八斗  
 稗二百九十七石  
 大豆二十八石  
 小豆四石九斗  
 粟二石一斗  
 苳一石  
 蕎麥五石七斗  
 白芋二石  
 菜八百十目  
 麻六十一目  
 梨栗櫻櫛  
 大三十目  
 小一十八目  
 布百三十五疋  
 菅筵十束  
 稲筵六十束

二本木村

縦十八町  
 横二町

高七十四石六斗九升五合

山林段別木數不詳

家三十一戸

人二百餘人

産物

夏廐同 大ニユ  
 小ニユ

布六十七疋  
 スカムシロ十束

猪一疋  
 ハエ アチメ

東方山

西方山

高山五里十丁

南方夏廐村へ十丁

北方池本村へ廿六丁

村名義ハ、此村山中ニ古シヘ栗ノ老大有テ、山神ノ守リ木トテ、村民聊サハラサリシヲ、或痴漢、餘人ニ議ラズ、獨ユキテ伐ラムトセシガ、

其椽ユクリナク飛來テ、身ニ大疵ヲウケテ、山ヨリ轉落シテ、村民遠ニ見テ、扶起シ負來、家ニカヘリ、伏サレメケルガ、其ヨリ病重リテ、久シク苦惱シテ、終ニ歿ヌルヲ、村民ミナク、神ノ祟ナラムト白セシトゾ、其後二本木、夏廐、二村ノ産土神、八幡宮、社木ノ大杉、イタク繁茂テ、下枝ハ村路ヲ覆ヒテ、村民ノ夏草ヲ刈テ、馬ニ負セテ、牽牛通ルニ、サハレリトテ、大杉ノ下枝ヲ、オロシケルニ祟アリテ、其者當日、草山ニテ、鎌疵ヲ受テ、家ニカヘリ、久シク悩煩ケルトゾ、其後、江戸城内ノ用木ヲ、免許状ヲ遣テ、伐ラムトセシ節、空中日夜鳴響ケルガ、伐テ後、其音ハ止ケルガ、其後年月ヲ経テ、伐ラセケル人、災禊アリシヲ、村民聞ツタヘテ、是皆祟ナルベシ



ト諸合<sup>カシラヒ</sup>シトゾ、カ<sup>ヲリク</sup>ル<sup>アル</sup>村ナレバ、上代ヨリ、立有二本ノ大  
木<sup>ツノリ</sup>ノ崇アラ<sup>カニコ</sup>ニ<sup>カニコ</sup>ヲ、畏<sup>カニコ</sup>ミテ、木ノ名ハ傳ハラネド、イサ、カサワラス、  
尊<sup>クマ</sup>ニケムヲ、他<sup>ヨソ</sup>村民ハ、二本木ノ村ト唱<sup>トナ</sup>ヘレニヤ、侍ラム、古人モ、フ  
ル川ノベニ、二本アル杉ト讀<sup>ヨミ</sup>シ類ナラム、

近世モ、此村ト夏<sup>イリアヒノ</sup>厩村、入會山内ノ、小鳥<sup>ヲドリ</sup>嶺ノ路傍ニ、往<sup>ユキキ</sup>来ノ

諸人ノ、目<sup>オドロ</sup>ヲ驚カスバカリ長<sup>オホイ</sup>大ナル、榎<sup>ナラ</sup>木<sup>ヨカシコ</sup>、彼<sup>オホ</sup>此<sup>ニ</sup>ニ立有故、地名

ヲ榎<sup>ナラ</sup>木<sup>ヨカシコ</sup>平ト稱<sup>ニラ</sup>シテ、村民ノ里<sup>サトヒウタ</sup>謠ニ<sup>ニ</sup>テ、ウタヒシ由<sup>ヨシ</sup>ナリシカ、其

後<sup>ウロ</sup>空洞ニ成タリシヲ、見侍<sup>シ</sup>リキ、今ハ朽倒<sup>クニタラ</sup>レシニヤ、

産土神八幡宮 夏厩村ニ座

西方教寺 東本願寺宗 高山照蓮寺末  
文明十八 午年開基

本尊阿弥陀如来 元禄七甲戌年、檢地名受、道場五郎兵衛、同十二年除地、  
其後今ノ寺号ヲ唱ル年月下詳

彦谷山

草

木 檜 黒檜 姫子 栗 榎 撫 朴 雜木

鳥

獸 猪 兔 狐 狸



池本村 枝村片野

縦三町四十間  
横一町廿六間

焼畑 五段五畝十八步

外七段一畝六步 享保十二年渡

高九十石五斗六升七合

山林段別木數不詳

家三十六戸

人二百三十餘人

産物 大繭 七ヶ月目  
小繭 九ヶ月目

楮

塩硝

在一石七斗五升

二ス

ハエ

東方山

西方

高山六里

南方二本木村へ廿六丁

北方江黒村へ一里

村名義ハ、往古此村ニ、大池アリレ故ニ名ニ負、後ニ淺セテ、今ハ村中

垣内ニ澤アリ、雨降ツキヌレバ、水湛テ池ニ成トゾ、毛登ハ、和訓栞ニ

米百十石  
稗百七十八石  
大麥六石四斗  
小麥三石二斗  
大豆二十六石  
小豆四石  
粟四斗  
蕎麥二石二斗  
注一石七斗五升  
里一斗二升二斗  
束二十八石  
麻三百目  
梅子 梨 栗 李 栗 棗  
大三千七目  
小二千九十五目  
布二十五疋  
稻筵十九束

日本紀ニ所ヲヨミ、神代紀ニ傍モヨメリ、トアレバ、池所、池傍等ノ

義ニヤアラム

産土神神明宮

祭神 天照大御神  
境内一段步 除地

祭日 氏子

同白山社

祭神 白山三社大神

境内一町八段四畝廿四步 除地

祭日 氏子

口碑ニ傳、往昔白川郷御母衣村ノ氏神、此村ノウレロノ山ナル榎

木、上ニ遷来レテ、此村ニ鎮座ムトノ神憑アリテ、田ノ苗一夜ニ

杉ニ變レ故、其處ニ宮ヲタテ、齋祭リ、其榎木ノ立ル山ヲ、御母衣



山ト唱へ、宮居ヲ今ニ、苗杉、森ト称ストナム、金山  
枝村片野

片野山中ニ金山アリテ、往古ハジメテ、関キレキ年代詳ナラズ、天正

年中、茂住宗貞、モダミソウテイ、末孫ハ今、越前敦賀ニアリテ打陀弁ニ郎守宗ト云、アニタ人ヲ入テ、溝ヲ堀、石垣ヲ

築、キツキ筵ヲ布、ヒキセリ流シテ、オカレ砂金ヲ取、石白モテヒキテ、製衣タリト見

エテ、今ニ、溝モ石垣モ、石白モアニタ残りヌ、片野村家ノ畑ハ、金ヲ

取テ捨タル古カラシ、壘ニトツモリテ、荒畑ト成タリ、徳川家支配

中ハ年々手當ノ買請米ヲ渡サレヌ

瀧ヶ平 鬼淵平

歩危橋

西正教寺

東本願寺宗 高山照蓮寺末 永正元 子年 同基

本尊阿弥陀如来

境内屋敷六畝歩

元禄七甲戌年、檢地名受道場甚助同十二巳卯年除地 其後今ノ寺号ヲ唱ル年月不詳

大多和山 瀧ヶ洞山

草

木 檜 黒檜 榎 姫子 栗 檜 樺 雜木

鳥

獸

寺垣内池

古大池跡、平生八沢、霖雨ノ比、水湛成大池、



江黒村 ユグロ

高六十一石六斗六升八合

山林段別木數不詳

家十六戸

人百人餘

産物

池本同 大ニ五七メ目 荏一石  
小ニ三三ニメ目 布二十疋

東方山

西方大谷村へ八丁

南方池本村へ一里

北方 吉 舟原村へ十八丁

村名義ハ古レへ小鳥川流此地ニ至リ處へ入江ヲナレテ其江畔ニ

住ル處故江畔 里ハ借 字ニテ 云ルナラム其餘波ニハ今モ此村ニ溜池 字丸山 周回 廿八間

米七十二石四斗  
稗百四石  
大麥二石  
小麥一石六斗  
大豆十二石  
小豆一石二斗  
蕎麥三斗  
荏一石  
麻十六メ目  
楮七メ目  
梅桃李梨林檎  
栗榴橡小栂  
大ニ五七メ目  
小ニ三三ニメ目  
布二十疋  
稲疋十二束  
廿五俵 茶百五十斤  
黄綿七メ五百目

池 字堂下 周回 深二尺 廿八間 清水 眼子菜生 ヒルモ 又池ガタト云地名モアリ、何レモ古レへ入

入江ノアセタル跡ノ小池ニナリタルナラム

觀音堂

本尊 境内五段歩 除地

溜池 字丸山 周回廿四間

同 字堂下 周廻廿八間 清水深二尺 眼子菜叢生 ヒルモ



大谷村

高五十三石九斗五升六合

山林段別木數不詳

家十九戸

人百三十四人

産物

東方江黒村へ八丁

南方池本枝村片野へ

村名義ハ、文字ノ、毛登米山内等ヨリ、流出溪水、フトケバレカ

云ナルベレ小八賀ニ同名ノ村

縦十六町廿間 焼畑五段五畝十五歩  
横三十五間三尺 外七段一畝歩 享保十二年渡

米六十二石  
稗九十八石八斗  
大麦二石五斗  
小麦一石六斗  
大豆十二石二斗  
小豆一石二斗  
粟一石  
蕎麥六斗  
菘一石三斗  
粟七斗七目  
麻十七目  
楮三十五目  
桃李梨林檎栗  
榎栂  
大二十六目  
小三十三目  
布  
稻菰十二束  
米八石 藍三十俵  
茶二百斤  
黄綿八目

大ニユセメ目 楮七目 荏一石  
小ニユセメ目 布二十疋 ミス ハエ イハナ

西方森茂村へ峠越二里  
高山七里ヨ

ナカレイルタニミツ

産土神八幡宮

祭神應神天皇御靈

境内五段八畝十歩

西方教寺

東本願寺宗 高山照蓮寺末  
文禄年中同基

本尊阿弥陀如来

境内屋敷一畝十九歩

元禄七甲戌年、檢地名受、道場太郎右五門、同十二巳卯年  
除地、其後今ノ寺号ヲ唱フル年月不詳

大谷山 毛登米山

草

木 檜 黒檜 姫子

雑木

鳥

獸 熊 猪



斐太後風土記卷九

白川郷

富田礼彦謹撰

白川郷ハ和名抄ノ大野郡大原郷ノ内ナルレ、其ヲ別テ白川郷ト称ルモト白

川ト云稱ハ、ナ當郷ノ御母衣村ト、平瀬村トノ山間、ナニテ西方ヨリ大白川ト

云川流出ル、ソノ其水源ハ白山ノ山ノ尾通り國界ニテ東ハ本州ノ内ナリ西ハ越前ナリ

國界論アリテ決セガルニヨリ、徳川家ノ所置ニテ、思ラ定メズ、白水谷ヨリ流出テ、白

水瀧ヲ落来テ、大白川トイヘリ、水色ツネニ濁リテ、白ク見ユル故ニレカ

イフトゾ、又南方ヨリ北流ノ水源ハ、ミヲカ三尾河ト、テラカウト寺河戸トノ山中ヨリ

流レ出テ、源ハ遠ケレド、水脈ハ却テ細ケレバ、支流ノ如ク、大白川ハ、水

脈太ケレバ、本流ノ如ク、流末ノ村々ヨリ水源ノ村々へ及ボシテ白川郷ト、



唱来レルニヤアラム 和名抄ニ東国ニ郡名モアリ、  
郷名ニモ、アメタアリ、

白川郷

六厩村 ハニヤ 三尾河村 ミヲカワ 寺河戸村 テラガフド 黒谷村 クロタニ 摠則村 ソウジ

一色村 イツシキ 猿九村 サルニウ 町屋村 新淵村 アラブチ 野俣村 ノマ

中畑村 牧戸村 牛丸村 長瀬村 森茂村 モリモ

保木脇村 ホキワキ 野谷村 ノノ 大牧村 萩町村 同新田 嶋村 シマ

牛首村 鳩谷村 ハトガヤ 飯島村 大窪村 馬狩村 ウマカリ

内ヶ戸村 加須良村 カスラ

同郷 照蓮寺  
領持添

岩瀬村 赤谷村 中野村 尾上郷村 ヲカエゴウ 尾神村 ヲカミ



更放草鹿馬  
追兔兎  
郎

暖雪  
深埋  
萬掛枝

山民合笑去  
何之

一聲  
小笛  
空林  
笛



海上村 カイシヤウ 木谷村 キタニ 平瀬村 御母衣村 ミボロ 牧村  
 福嶋村 フクシマ 椿原村 ツバキハラ 有原村 ウケハラ 芦倉村 アシクラ 小白川村 コシラカハ  
 萩町村 ハギチヨウ

高千二百七十四石一斗六升六合  
外高二百三十六石五斗六升一合 照蓮寺領  
 家五百七十四戸

人四千六百六十餘人  
 疎 クセチ 已夫知 コブチ

和名抄畝獵具部云、四声字苑云、クセチ 取獸械也、○和訓栞ニハ、コブチ 已夫知ハ、機ライフ、古ニイフ於之也、竹龍鞭ノ義ナルベシ、竹龍中ニ、鞭ラシカケタルナリ、トアレド、何レモ殊也、クセチ 疎ト機トハ、製方甚コトナリ

古夫智 コブチ

白川郷ノ内、上白川ノ 六所村ヨリ海上村ニテラ上白川ト云 村々ニテ、掛ル古夫智ハ、甚クヤスク、童男女モ、手自カクルコトニテ、其ハ、ツ、樹下ニ、竹如此架ラ、秀枝ニテ結タテ、然科ノ木 サラシナ 類也ノ皮ヲ、剥テ緒トシ、傍ニタテル、樹枝ニツナキ、其緒サカリシニ、両端ニ細枝ノ両端ヲツリ、波世ラツク、架ラ潜ラセ、又細枝ヲ横タへ波世ニテ持セ、架上ニ、餌ヲ モタ 餌ヲ エ ツナギ、置、小鳥来テ、其餌ヲ食トキ、イサカサハル故ニ、ソノ波世外レテ、自然小鳥ノ首ハ、サミ打レタルヲ見テ、ヨクナレ 能馴テ、巧ニ掛レハ、一日ニ數十羽ヲ得ルトゾ、サレハ古夫智ハ、首打ノ訛レル詞ナラム、上白川ノ村々ハ、畑ニ年々、荏ヲ エ 作レ、暮秋ノ頃、鶉獵子鳥ナト、ソノミ 嶽ヨリ、群来テ、ハレキ 熟荏子ヲ、食ユエ、ハム 村々ニテ、キノヒテ、古夫智ヲ掛テトレリ、コブチ



其<sup>ソ</sup>ヲ自食<sup>ミツカラシヒ</sup>モシ、高人<sup>阿多野郷、竹原郷ニテ、</sup>ニ賣<sup>トリシ、小鳥ヨリハ、</sup>ニ、白川<sup>ニテトリシ、</sup>ニテトリシ、鷓鴣<sup>子鳥</sup>子鳥  
ハ殊<sup>ニ</sup>膏<sup>フカク、</sup>美味<sup>ト</sup>ト賞<sup>セ</sup>ル、荏<sup>子</sup>ヲ食<sup>シ</sup>故<sup>ナリトゾ、</sup>

機<sup>カシ</sup>

機<sup>ニ</sup>大小種々アリ、深山<sup>ニハ、</sup>自然跡<sup>ノアル</sup>ノ路<sup>ニ、</sup>大機<sup>丸木ヲ藤モラカラシ、</sup>  
上<sup>ニ</sup>大石<sup>ヲ、</sup>數多<sup>ク</sup>ノセ置<sup>、</sup>餅<sup>菓子</sup>ヲツナギオケバ、熊猪<sup>ナド、</sup>来<sup>テ</sup>カ、ルトゾ  
村<sup>ノ</sup>近山<sup>ニハ、</sup>小機<sup>ヲ</sup>作り、藪草<sup>等ヲ刈</sup>拂<sup>ヒ、</sup>路<sup>ヲツケ</sup>置<sup>、</sup>是亦餅<sup>ヲツナギ</sup>  
置<sup>、</sup>貉<sup>、</sup>雉<sup>、</sup>子山<sup>、</sup>鷄<sup>ナドヲ</sup>トレリ、方言<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>世<sup>ト云ハ、</sup>於<sup>テ</sup>之<sup>ノ</sup>訛<sup>ルナラム、</sup>  
國中<sup>ノ</sup>山村<sup>、</sup>何處<sup>ニテモ、</sup>機<sup>ヲ</sup>カクレド、格別<sup>白川郷ハ、</sup>多<sup>ク</sup>ニ掛<sup>ル</sup>トゾ、

魚<sup>イサ</sup>梁<sup>カサ</sup>

村<sup>ゴトニ</sup>ウツ<sup>ニハ、</sup>非<sup>ズ</sup>  
村<sup>カラ</sup>ニ依<sup>レリ</sup>

白川<sup>ハ</sup>コト更<sup>激</sup>流<sup>ナレバ、</sup>年魚<sup>ハ</sup>國中<sup>ニテ、</sup>最<sup>第一</sup>ノ香味<sup>也ト</sup>言<sup>傳</sup>ヘタリ宮川

高原<sup>川ハ、</sup>年魚<sup>ノ</sup>味<sup>ハ</sup>少<sup>劣</sup>レリトゾ、サレト豊<sup>年</sup>ナラデハ、上<sup>白川</sup>ニテハノホラス、

豊凶<sup>ニカ、</sup>ハラス、中<sup>切</sup>大<sup>郷</sup>等<sup>、</sup>下<sup>白川</sup>ニテハ、魚<sup>梁</sup>ニテトルトゾ、

咩<sup>ソ</sup>宇<sup>ウ</sup>多<sup>タ</sup>牟<sup>ム</sup>

宗<sup>不</sup>詳<sup>、</sup>  
訓<sup>亦</sup>同

上<sup>白川</sup>ノ山々、初<sup>雪</sup>ノ頃<sup>ヨリ、</sup>村々<sup>ニテ、</sup>兔<sup>ヲ</sup>トルニ、草<sup>鷹</sup>ヲ用<sup>、</sup>其<sup>ハ</sup>稗<sup>穀</sup>  
等<sup>ヲ</sup>束<sup>テ、</sup>鷹<sup>ノ</sup>顔<sup>ニ</sup>レテ、山林<sup>ヘ</sup>推<sup>テ</sup>登<sup>、</sup>木<sup>ニ</sup>縁<sup>テ、</sup>小<sup>笛</sup>ヲフケバ、兔<sup>ハ</sup>鷹<sup>ヲ</sup>ナラ  
ムトテ、周<sup>障</sup>タル處<sup>ヘ、</sup>林中<sup>ヨリ</sup>草<sup>鷹</sup>ヲ投<sup>ウ</sup>テバ、兔<sup>大</sup>ニ驚<sup>テ、</sup>傍<sup>ノ</sup>藪<sup>中</sup>  
へ逃<sup>亡</sup>入<sup>ラ</sup>見<sup>テ、</sup>藪<sup>上</sup>ノ雪<sup>ヲ</sup>落<sup>シ、</sup>壓<sup>ヘテ</sup>兔<sup>ヲ</sup>トルト、袋<sup>中</sup>ノ鼠<sup>ヲ</sup>トル如<sup>ク、</sup>  
容易<sup>ト</sup>トリテ、高山<sup>町</sup>ヘ賣<sup>出</sup>ス、

白<sup>ミ</sup>樺<sup>カラ</sup>

白川<sup>郷</sup>、真<sup>村</sup>々、松<sup>木</sup>ナキ故<sup>ニ、</sup>嶽<sup>樺</sup>ノ皮<sup>ヲ</sup>剥<sup>テ、</sup>炬<sup>又、</sup>字<sup>燭</sup>ノ代<sup>ニ</sup>用<sup>、</sup>





白川郷村々  
 隙を掛て小鳥を  
 さらはたすく童児のこころ

累世不鑽燧 ダイク スアラタヒラ

白川郷ノ村民、父祖ヨリ代々火ヲ改メ、其ハ年々四時ノ差別ナク、新ハ長四五尺、

廻尺五ヨリ、二尺停、雜木ニツ割、又ハ丸木ニ焼テ寒、冷ヲ凌ゲリ、寺河戸野、俣ナドノ  
関身、暑中ニテモ

單衣ナクテモスホトノ、  
寒冷ナル、山家ナリ、家毎ニ夜更人定ル時ハ、其榾柮ニ灰ヲカケ置テ定リ又、

夜明レバ、カケタル灰ヲ退ケ、新ナル榾柮ヲ添テ、火ヲ吹テ焼テ、村ニ同古歌ニ

親ノ親子ノ子ノ子ニテ山ガツノホタノ火ケタラカクミトゾスル 讀人不知

コリ積シホタナカリセバ冬ツカキカタ山里ニイカテスニ、シ 忠房

山ガツノホタサシアハセウツム火ノアルトモナクテ世ヲモフル哉 長秋

自古避疱瘡 サクモカサヲ

白川郷村ノ民ハ古シヨリ、疱瘡ヲ忌嫌ヒテ、高山町又川上郷村ニ、疱瘡ノ



病人アル家ノ前ヲダニ不通<sup>トホラ</sup>オシナヘテ流行<sup>オチハル</sup>ヲリニハ無據事アリテモ、村ヲ出  
ズ、<sup>ナキコトコソ</sup>疱瘡スミテ後ニ出ルト<sup>ヨソ</sup>、若他郷<sup>カソリ</sup>ニテ、傳染<sup>カソリ</sup>シ者ハ、他郷ヲ頼<sup>フミト</sup>ミテ卧床ヲモ、  
療治<sup>イニ</sup>ヲモ他ニ任セ、然テ平愈テ後、村ニ歸ラセ、又頼<sup>イニ</sup>ムキ方モナキ者ハ、其山  
中ニ小屋ヲ掛テ、往<sup>カネテ</sup>年<sup>カネテ</sup>疱瘡ノスミシ人ヲ雇ヒテ糧ヲ齎<sup>モツ</sup>セテ、病人ノ叡抱  
サセ、スミテ後、家ニ歸ラストゾ、<sup>益田郡ノ内竹原郷門和佐</sup>迎<sup>モツ</sup>モミナ<sup>モツ</sup>ナ<sup>モツ</sup>疱瘡ヲ忌避<sup>モツ</sup>ルトゾ

黄檗 郷中山ニ多カリ、藥品ニモ、漆種ニモトリテ商人ニ賣、

奴倍之 <sup>ヌベシ</sup> 加夫良伎 <sup>カブラキ</sup> <sup>ヌヘトモ</sup> 及ヲ剥テ、越前国ノ商人ニ賣来リ、紙ヲ漉ニ用ルト<sup>正字不詳</sup>

革草 <sup>カワタケ</sup> 郷中山ニ多生フ、深山ニテ、熊ノ尿セシ痕ニ生ル、格別肥大ニテ偶管<sup>スケン</sup>

大笠ヨリモ、大ナルヲ採ル<sup>ト</sup>有トゾ、可惜コトハ、秋霧ノ甚<sup>イトク</sup>ラカキ故ニ

日ニ乾<sup>ヒルスキニハシ</sup>テハ午後少時ナラゲハ無ケレバ、何村ニテモ爐架<sup>アベ</sup> 炒上ノ架ラカ<sup>言安未ト云</sup>ニテ

乾<sup>ホス</sup>ユニ、煤<sup>ス</sup>ハミテ、味<sup>シカ</sup>苦シ、可惜事ニコソ

薯蕷 <sup>ヤマイモ</sup> 獨活 <sup>ウド</sup> 筧竹筍 <sup>タケノコ</sup> 路 <sup>フキ</sup> 何レモ村<sup>ノ</sup>食ニ充ル<sup>ノ</sup>ニ

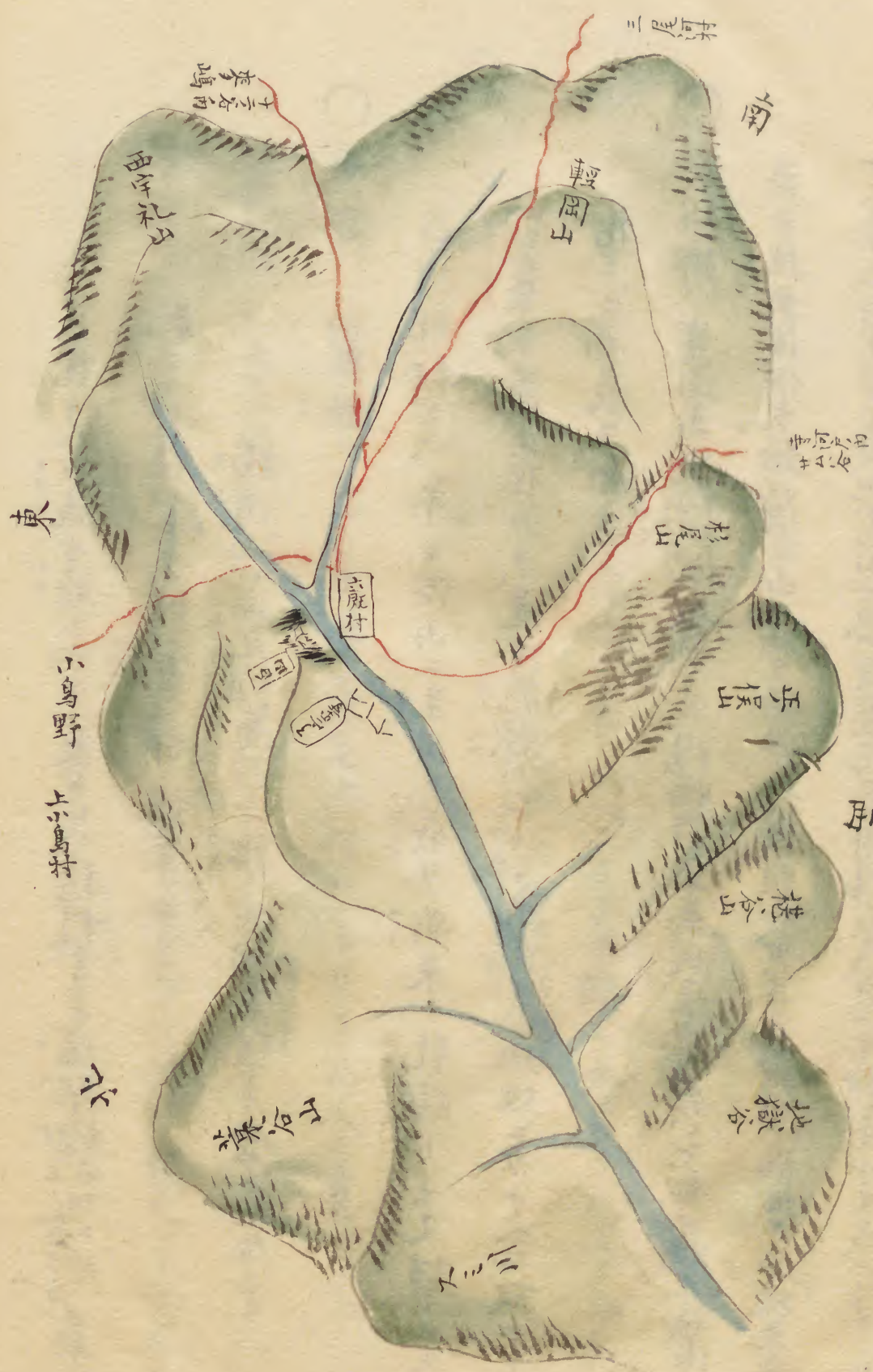
○ 干蕨 <sup>ホシワラビ</sup> 乾瓢 <sup>カハヘウ</sup>

白川郷村々ハ、年々深山ニ生<sup>オヒ</sup>出ル、<sup>ワラビ</sup>蕨ヲ折来テ乾蕨トシ、又村<sup>ニ</sup>ニテ、  
胡蘆<sup>エラガホ</sup>ヲ、ア<sup>カ</sup>メ<sup>カ</sup>作りテ、是亦乾瓢<sup>カハヘウ</sup>ニシテ、賣出セリ、地理ニカナヘル故ニヤ  
何レモ、味最ヨシ、

○ 白川郷ハ、寛正年中、<sup>此以前ノ</sup>信州ヨリ、内嶋<sup>カ</sup>將監為氏来テ押領シ、初メ牧戸城ヲ

築テ住、其後保木脇、帰雲山ニ城ヲ築テ移住、雅氏其子氏理ニテ在城セリ一説天正  
十三年乙酉十二月ト云、地震山崩、一族壓死ニテ内嶋三代百二十餘年ニテ亡、





○石徹白彦右衛門尉長澄ハ金森家ノ功臣ナリ、天正十六戊子年春、小島ト白

川ノ二郷、千五百斛ヲ賜ヒ、九年領セシガ、慶長元年丙申ノ秋、長澄城州  
 伏見ニテ病死セリ嗣子ナキニヨリ、其跡可重朝臣ノ領地ト成ヌ、

輕岡嶺 カルラカシウゲ 六所村ニアリ、嶺 アブ  
 西、三尾河村ニ屬リ 群蟲 アブ

險シク高キ嶺ナリ、年々微雨ノ頃ヨリ、數千ノ蟲飛出テ、往來ノ人ノ顔ニレ

首ニレ、手足ニレ、知ラヌ間ニ、搔着テ、蝨シ血ヲ吮テ惱メシヌ

曉カ夜ナラテハ土人ハ通ハズ、人語ヲ聞ケバ、忽チ羣來ル故止ヲ

得ズ、白日往來スル輩ハ、兩三人同伴トモ、一人ツ、離レテ、黙行テ、足

音モセヌホトナレバ、蝨ノ來ルト少シトゾ、凡蝨ノ數多生ルハ此輕岡ハ

國中ニテ、最第一山ニテ、小島野、上小島ヨリ六所村ニ通フ道ナリ 是ニツケリ蝨ニ三種アリ、



大ナル茅蜩ヒケラシノ如シ、好テ牛馬ノ血ヲ啞スラ、馬アブ氏牛中ナル、其大サ蜂ノ如シ、  
小ハトイモキキ方言表呂ヲロ蠅ヨリハ聊大ナリ、何レモ群来テ、人ヲ惱メスコトハオナシ、  
小蠅ヲ五月蠅サツキアブ凡イフトゾ、

産土神

白川郷村ニモ、往古、産土神ヲイツキ祀マツリラム中昔旭谷村カネハハ嘉念坊来リテ村々ノ  
愚民ヲ化導シテヨリコノ方、每家神棚拜礼ヲ禁止、岡山親鷹ハ天児屋根神祇ヲ  
忌嫌ヒ、已ガ宗旨ヲノミ、説聞セケル故ザラヌダニ至愚ノ村民等、悉ク神ヲ疎オロ  
畧ニシ、敬サルヲ善事ト心得、村ヨリテハ已ガ産土神ノ社頭ノ廢絶ヲモ顧サル  
ハ、神國ニ生レテ、日夜重恩ヲ蒙リナカラ、其ヲ辨ロキハサルハ、アナカキニ村民  
ノ懈怠オコタリニハラシ、化導スル僧徒ガ奸計ニアナカシコ、  
白川郷ニ習ヒテ、國中  
三郡彼宗風皆同ジ、

鹽硝

白川郷中仕切組尾神ノ北ヨリ、大牧組、大郷山家等ノ村々ニテハ、塩硝ヲ作ラ  
ムガ為ニ豫テ居宅ヲ、床高ク造レリ、其ハ床下ニテ、塩硝ヲ作ルニ先其作土  
ヲ入オキ、稗穀蓬タバコノ莖等ヲ埋テ、鋤モテ和シ、ニセ更テ肥ヲ加ヘ、年々時  
候ニ從ヒ、怠ラズ培養テ、凡三四年ヲ経テ、其土ヲ取出テ、賣テ製シ、塩硝ニシテ、  
賣出シ其村々家々ノ餘業トセリ、

乾狗脊

下白川ニモシラカハ尾神ヨリ北、村々ハ、他郷ヨリハ、格外狗脊肥太リテ、味亦佳ケレバ、年々四  
月、山中ノ雪消テ、生出ルヲ待得テ、折来リ食ニモ用ヒ、餘ハ悉ク瀾テテ灰ヲ  
懸ケ日ニ乾上テ、賣出セリ、



白川布

是モ下白川ノ村々ハ麻ヲ數多蔀テ、アマメ蔀ヲ續ワシ、婦女冬春ハ專機ヲ織布ニ製  
テ賣出ス、至テ細密ニテ、品ヨキハ茶碗布ト稱テ、一段布ヲ濡セハ、一茶碗  
裏ニ入ヌト云傳フ、ハツクシカ

白川五竹龍渡

長瀬之内温水ハ掛渡、大牧村萩町村通路、大綱長五十間、大綱長十八間、大綱長五十六間

椿原村芦倉并有家ヶ原通路、小白川村坂川ハ掛渡、越中往還

白山三温湯平瀬ヨリ七里半深山字湯ノ俣谷、三湯共四五間宛隔而涌出熱湯

榎本湯平瀬山内湯ノ俣谷、青海苔湯同上、白浪湯同上

六既村ハニヤ、高二十七石八斗九升六合、燒畑九町三段四畝十二步、外十八町六段八畝廿四步、享保十二未年渡

山林段別木數不詳

家十八戸

人九十餘人

産物大豆、油、荳、ワタウハ、ハキ、五十足、山トリ、五キジ、三

東方山、西方三尾河村ハ一里半ヨ、高山七里廿六丁

南方榎谷村ハ二里六丁、北方上小鳥村ハ二里半ヨ

村名義ハ古シヘ國中ヨリ、美濃國郡上郡、又越前國ヘ、ミチナヒ路次ノ驛舍ニテ一  
村僅ニ既六ノ三ナリシ故、ハニヤ六既也、年未トイヒシナラム、ソノ其ハ當昔國中ニ郡上

稗二百八十四石二斗  
蕎麥十九石ヨ  
大豆十四石ヨ  
小豆二石三斗ヨ  
粟十二石ヨ  
荳十四石三斗ヨ  
粟六百五十五目  
麻十七目  
麻種一石六斗九升外  
梅李梨栗櫛  
杖二三十目  
ブドウハキ五十足  
シナハ葉二十領  
布五十七反  
干蕨六目  
華茸四目  
山トリ五羽  
雉子三羽  
ハニヤ五本  
籾二百  
イハナ百五十



長瀧寺ノ末寺宿等、ア一々有テ、檀家太多分ニアリシ頃、其僧徒ニス、メラレテ

越前ノ白山ノ神ヲモ、村々ニ祭リシホトノ事ナレバ、近年、京本願寺参詣ニ國中ノ人民、年々アマタ

上ルカゴトク 白山、長瀧寺ノ本山 平泉寺、長瀧寺 長瀧寺へ、参詣ノ諸人、年毎ニ數多、

通ツラム、中昔ヨリ、國中ノ村長瀧寺ヲステ、皆本願寺宗ニナリテ、白山へモ長瀧寺へモ参詣セネド、其ハ本願寺、神ヲ聊モ祭ラヌ、宗風ナレハ、今ヲ以テ、古レハ、ハカリ

ガタカルベシ

産土神白山社

祭神 白山三社大神  
境内 五畝歩除地

祭日

氏子

了宗教寺

本尊 阿弥陀如来  
境内 屋敷三畝十四歩

東本願寺宗  
文龜ニ壬戌年開基

高山照蓮寺末

元禄七甲戌年檢地名受、道場七左門、同十二巳卯年除地、其後今ノ寺号ヲ唱フル年、月詳ナラス、

驛舎

高山ヨリ白川ノ関所  
并越前國へノ往還

高山 三里 牧ヶ洞 二里

夏既 三里

六既 一里半

三尾河

金山跡

六既山中ニ金山アリ、往古始テ掘シ年代、詳ナラス、小鳥郷池本

村片野ニ同ジク、天正晩年、モズメソウライ 茂住宗貞、アマタ人ヲ入テ、堀シ由申傳

タリ、溝モ、イシカキ 石垣モ、イシウス 石臼モ、アマタ残レル、片野ニ全ジ、

山方

川上郷有巢村、二俣村、中野村、楢谷村、大原村、此六既村トテ、古シヘ

ヨリ、材木伐出シ、山方村々ト唱へ、深山ナル村々ニテ、山々ニ上木ハ數多

生タレド、穀物ハ登リカヌル村ナレバ、徳川家ヨリ、年々手當ニ買請米ヲ



渡シテ、貧民ヲ救ハレシ、村ナリ、  
西水源山 輕岡山 宮谷山 杉尾山 正ノ俣 榎谷山 蓑谷山 地獄谷 須弥川

草 獨活 蕨 路 山葵

木 檜 黒檜 榎 杉 杉尾山 自然生 姫子 栗 赤檜 雜木

鳥 鷲 鶇 鷹 雉子 山鷄 郭公 鶯

獸 熊 猪 狐 兔 貉

六既川

金魚 鯿 石魚

雜魚

三尾河村

高二十一石七斗三升七合

縱三町十五間 横三十五間

焼畑七町七段五畝四歩

享保十二未年渡

山林段別木數不詳

家十三戸

人八十餘人

産物 大豆八石ヨ 苳十石斗 大藪 三十二目カハキ十足 小藪 三カハキ十足

東方六既村一里半

西方黒谷村十二丁

高山九里

南方山

北方 寺河戸枝村 廿八谷一里

村名義ハ三八借字ニテ、水尾河ナルベシ、和訓葉ニ、水尾ハ水ノ深所也ト云リ、范大成詩ニ、作山腰水尾來、又水脈ヲモ訓リ、延喜式ノ、宣命ニ、水脈モ教導賜ヘト

稗百四十五石ヨ  
蕎麥十一石五斗  
大麥一石二斗  
小麥五斗  
大豆八石五斗  
小豆三石五斗  
粟八石三斗  
苳十石六斗  
菜千五百目  
ナメシ四升  
麻十五目  
畑草二十方  
梅李栗トナ極桃  
杖三十三目  
木綿五反  
シナノ蓑三十五領  
布三十五反  
菅筵十五束  
千歳五ノ目  
カハキ十足  
菅筵十五束



草タケニ目  
大コシカフヲ白  
ナス 瓜南瓜  
山トリ十五  
ニス 三本  
雉子三羽  
ハエ五十  
鹿二足  
イハ十百五十

宣フト見エタリ、○和名抄ニ、近江國高嶋郡三尾郷神名式ニ水尾神社

臨時祭式ニ、○葉ニ近江國高嶋郡水尾村ニ水尾神社アリ、神名帳頭注ニ南

水尾ハ、猿田彦命、河内、社氏云、河北八天、鈿女命也、兩社水尾川ヲ隔テリ

ト見ユ、トアルニ同ジカルベシ、河カ、加不ト云ハ、河内、河野

驛舎 高山三里 牧ヶ洞 二里 夏厩 三里 六厩 一里半 三尾河 一里半 新淵

産土神

西願教寺 東本願寺宗 高山照蓮寺末  
文龜二戌年開基

本尊阿彌陀如來

境内三畝五步

動搖石

字大石ノ畑中ニアリ、高四尺五寸、長八尺、幅四尺、石色黒、  
一人ニテテリテモ十人ニテユリテモ、同ジホドニユラトゾ、  
元禄七甲戌年、檢地名受道場ニ郎左五門同十乙卯年除地、  
其後今ノ寺号ヲ唱フル年月詳ナラス、

川 南方水源水尾河ヨリ出テ 北流黒谷村ニ至ル 魚 鯿 鱒 石魚 雜魚 橋

澤 字今尾 縦七十間 横三十間 中央水深三間 管多生

寺河戸村 枝村 三谷 焼畑十一町四段六畝三步 外二十町九段二畝六步 享保十二未年渡

高五十一石五斗九合 縦四町 横五十三間

山林段別木數不詳 家二十七戸 人二百三十餘人

産物 大豆十九石三斗 苳 廿六石二斗 繭 九石八斗 山葵 力ハキ 子足 山トリ 五キ 五尾 三  
東方 山 西方 山 高山 十里 烟草 十斤 麻 二十九目 菜種 二升ヨ 芥子 五斗 粟 二十石一斗 蕎麥 三十石ヨ 大豆 十九石ヨ 大麥 五斗 米 一石二斗 柳 四百石二斗



小一五九十八ノ目  
木綿十五反  
カハキ二十足  
木綿二一八反  
布百二反  
千疋十ノ目  
稲疋五十束  
ワラシノ五十領  
榎ハレハミ粟櫛  
大コシカフヲ銅草  
白茅タケノコ  
山トリ五羽キレ五羽  
鬼三疋一ノ十本  
ハ二百五十  
イハナ二百五十

南方 美濃国郡上郡 水沢上村へ三里 北方黒谷村へ二十餘丁

村名義ハ古シへ此村ニ郡上長滝寺ノ末寺アリシニヤ、村中ノ板橋ノ辺、  
字御堂前トイヘリ、河戸ハ古事ニ記水戸トアル如ク、川門ノ義ナル  
ヘシ枝村サハ谷ハ、三尾河村ノ山奥ニ在寒谷ノ義ニヤ、  
産土神

遊浄教寺 東本願寺宗高山照寺末  
大永三癸未年開基

本尊阿弥陀如来 元禄七甲戌年檢地名受道場久助同十二巳卯年除地  
境内屋敷四畝十六歩 其後今ノ寺号ヲ唱フル年代不詳

寺河戸関 口留番所ト云濃州郡上郡水沢上村へ出

天正年中金森家國中平治ノ後四方出入ノ口々ニ関ヲ建シ其一也

川 南方字山中ヨリ流出北流  
黒谷村ニ至三尾河ニ入

魚 鯿ハエ 鱒ハス 石魚イハナ 雑魚

橋

三谷 銅鉛山

黒谷村 クロダニ 焼畑四町八段二畝十歩  
外九町六段四畝二十歩享保十二未年渡

高五十四石二斗八升八合  
山林段別木數不詳

家二十四戸

米四石五斗  
禪三百六十石  
大麥一石二斗



蕎麥二十石ヨ  
大豆十四石ヨ  
小豆二石二斗  
粟十二石八斗  
荳十四石余  
麻種一石八斗  
菜種八斗五合  
粟九百八十目  
麻九百八十目  
梅李梨栗核桃  
秋五十八目  
木綿十五反  
布四十五反  
木綿編五反  
カハキ十五反  
バトリ三十領  
稻筵五束  
干ワラビ三目  
大ニカブラ白芋  
ゴホワナス瓜  
南瓜百合菘荷  
路タケノコ  
山トリ五羽推子二羽  
ス十本八二百二十

人百六十餘人

産物 大豆 十四石五斗 荳 十四石三斗 鱒 五十八目 カハキ 十五反 山トリ 五 キジ 二 ス 十本

東方三尾河村へ十二丁 西方山

南方寺河戸村へ二十餘丁 北方総則村へ四丁

村名義ハ、當郷ニ赤谷村モアリ谷川ノ砂石ノ色ニテ、名ツケタルニヤ、近

江、国比叡山、西塔黒谷、法然修学セシ處 洛東山、黒谷、等聞工侍

産土神白山社

祭日 氏子

祭神白山三社神 境内三畝十步

浄念教寺

東本願寺宗高山照蓮寺末  
文龜二至戊午開基

本尊阿弥陀如来

元禄七甲戌年、檢地名受、道場孫五門、十二巳卯年除地  
其後寺号ヲ唱ルル年代不詳

境内屋敷三畝十步

三尾河 黒谷村ノ中央ニテ合流、北ニ流総則村ニ至  
寺河戸川

魚 鯿 ハエ 鱒 ニス 石魚 イハナ 雑魚 ヤッコ

欄干橋 テスリツキハレ 幅長

総則村 ソウノリ

焼畑一町四段九畝四步

外二町九段八畝步 享保十二未年渡

高十九石四合

山林段別木數不詳

家十一戸

米十石五斗  
稗百五十五石ヨ  
大麥七斗五升  
小麥六斗  
大豆十石四斗







米二十九石八斗  
 得三百五十石  
 大麥一石五斗  
 小麥三斗  
 大豆十九石二斗  
 小豆六石八斗  
 粟二十五石五斗  
 蕎麥二十石六斗  
 苳二十六石八斗  
 米千五百目  
 菜タネ一斗  
 麻五十目  
 梅李梨栗櫻梅楸  
 杖三十五目  
 木綿二十及  
 布四十五反  
 稻筵十五束  
 モノシ一五反  
 千ワラヒ十目  
 カハキ三十足  
 ギトリ五十領  
 大ミカワラナス  
 南瓜瓜ゴボウ  
 鈔草路タチノコ  
 山ドリ十五羽キレ四羽  
 ニス二十本ハエ百三十五  
 一ハ十二百サコ四十五

山林段別木數不詳

家十二戸

人百二十餘人

産物 大豆十九石二斗

苳 廿六石八斗

藪 七十五目

山葵

木賊

山ドリ十五キシ四  
 ニス二十本

東方総則村六町

西方山

南方山

北方川

高山十里六丁

村名義ハ村長書上帳ニ、文明年中、一色左京大夫義直、

應永五年、足利家始テ、四職ヲ置

シ内ニ、一色左京大夫詮範

ノ一族タル、一色式部義當、浪人ト成、當村ニ来リ、

住居シテ農家トナレリ、一色義當住居ノ村ユ、後ニ一色村ト稱シト

ナリ、

産土神白山社

祭神白山三社大神

境内七畝十五歩 除地

祭日

氏子

鷲ヶ嶽

獸

鳥

草

木賊

山葵

木

雜木

舊家村長主 甚助ハ白川郷鳩ヶ谷村、照蓮寺 初代 嘉念房善俊九世明教ノ

長男、三嶋將監教信ノ二男、三嶋太郎左衛門正嚴、浪人ト成一色式部義當

ノ居地ニ住居シテ、田畑ヲ墾、添農民ト成ヌ、今、甚助ニテ 十一代ニ成ヌトゾ

所藏品 轡一口 羊唇不知領金森家ヨリ所賜ト云







紀伊國名所圖會卷之六  
那賀郡志卷之十四  
村生土神國主村國主  
神社、祭神大國主命  
右大國主神、每歲大饗  
左大國主神、每歲大饗  
ノ祭アリ、十四村一村毎ニ  
大酒桶ニ大榎飯ヲ山  
如ク盛積テ車モテ  
引テ、神前ニ捧ク、テ  
祭ハ古其社前ナル  
野上川ノ竜宮淵ニ  
竜蛇住ラク、ヨシク  
リ殺レケルヲ、後ニ神  
ニイヒ祀テ、毎年人  
ヲ一人マ、生贄ニシテ  
ケルヲ、後大盛飯ニ代  
テ、備フルト云リ、今昔  
物語ニ、飛驒國ニ、依  
テ神ニ祀リテ人ヲ生  
贄ニ備ヘシテ、アルタ  
キヲ、コ其様ヲ生神  
祠ヲヤキスナ、ソノ  
コト止マ、カ、ル怪キ  
ヲ、世間ニ云ツタフルモ  
多シト見エタリ

史記滑稽列傳云、  
魏文侯時、西門豹為  
鄆令、豹到、問民所  
疾苦、長老曰、若為  
河伯娶婦、以故貧、俗  
語不為娶婦、水未  
漂溺人民、ト云ニヨリ  
テ、豹命メ大巫姫、三  
巫ト、三老トヲ河中ニ  
投シ、惡孽ヲ止ム、  
蒙求西門投巫婦中ニ  
見エタリ和漢同一  
奇ナリ、

コト限ナシ、皆人ノナダムルニ、杖モテ數多打テ、後ヲ禁シメ追放シヌ其後家ハ  
ユタカ、ソノサト、ト、ウヤ  
豊饒ニ、其郷人ニ敬ハレ、妻トムツシク、子孫繁昌又飛驒ノ國ニ、カ、ル所アリト見エ  
タリ村名トイヒ、瀧トイヒ決テ此村ナルベシ、如是猿丸ヲ神ト崇メテ、多年生贄ヲ  
ソナヘシ村ナレバ、他村當村ヲ、猿丸ト唱ヘシ名ニヤ、

宇治拾遺物語 十卷、六段、ノ、吾孀人止生贄條ニ、美作國 一ト、  
宮、若東郡、中山、神社

ニ、年経タル白猿丸ノ住テ、毎年ノ祭ニ、美女ヲ、生贄ニレツ、過來タリ

シラ吾孀男退治シテ、其女ト夫婦ニ成レ、故事見エタリ、  
古史傳四卷十三丁ニ  
其ヲ直ニ神ノコト

ツメタルハ誤ニ、カ、ル妖、ハ、シキ物ヲ住セ  
能似タル事ナリキ、  
置タニシケム神ノ御心ハイトアヤキ物ニ云ミ

今昔物語叙ニ當初宇治大納言源隆國ト申人オハシキ、コレハ醍醐帝ノ皇子

西宮丸大臣高明公ノ孫ニテ、權大納言俊賢卿ノ次男ナリ、後冷泉帝ニ仕ヘ

奉リテ寵遇セラル、此人古シヘヲ好ム心アリテ、世ニ傳タル古事ヲ聞テハ必ズ

記シテ、是ヲタシメリ、然レ氏、自猶タレリトセズ、宇治ノ別業ニ趣キ路傍ニ茶店ヲ

構ヘ、往来ノ人ヲ招キテ、古物語ヲサセテ、本朝ノ故事、天竺震且ノ雜話ナド、

聞ニカセ書記シテ、終ニ若干ノ冊子トナセリ、其初ニ今昔ト書出セラテ

是ヲ物語ノ号トセリ、作者ノ名ニ因テ、又宇治物語氏唱フ、爾ニ後、其遺レ

ルヲ拾ヒタルヲ、宇治拾遺ト云トナム、  
系譜云、隆國初名、宗國、寬仁二年、改名隆國、長元七

年、參議從三位、長曆元年、從二位、長之四年、權中納言  
治曆三年、權大納言、此人性質肥大、而甚苦暑氣、故朝參之暇、盛夏為納涼趣、宇治別業、構茶店於道  
傍、常招往還過客、使啜一甌之茗、聽其所談、或本朝故事、或天竺震且、雜話、悉皆抄之、号今昔物語、或曰  
宇治重相物語、而後稱其所編  
者、号之ヲ、宇治拾遺物語、云、

生贄男主復猿丸

カニノヨノ大蛇ニアラヌサル丸ニタレイケニ、ヲソナヘツメケム 礼彦







木綿綿五反 唐紙五枚  
布二丈五反 千疋目  
縮紙廿五束  
カニヤウ 三百目  
ワラシノ 三十領  
カニヤウ 二十足  
大コカブラ  
餅算 百合  
白芋 南瓜ナス  
ナリ 路 タケノコ  
川 芦 五百目  
黄レシメ 目  
ニス 五本 八五百千  
山トリ 三羽  
雉子 二羽

南方山

北方山

村名義ハ古モ今モ山村ト市坊トノ家作ハ自然差別ハ有<sup>レ</sup>ナレ<sup>ル</sup>好事ノ  
者ハ山村ノ家作ヲ賤シト思ヒ市坊ノ家作ヲ羨ミ擬<sup>テ</sup>ア<sup>ル</sup>モアレバ此村ニイニシヘ  
町家メキタル板屋ヲ作りシ故ノ名ニヤ侍ラム

産土神若宮八幡宮

祭神 應神天皇 兩尊靈  
仁徳天皇 除地

祭日 氏子

町屋嶺

白川 南方一色村山界ヨリ北流

魚 椽丸村同

新淵村

焼畑二十五町五段一畝歩

高八十六石五斗七合

縦六丁十五間  
横四丁五間

山林段別木數不詳

家二十五戸

人百六十餘人

産物

大豆

苳

繭

干瓢

山トリ六  
ニス七本

キジニ  
アチメ

東方山

西方川

町屋村三丁

高山十里半

米七十九石二斗  
得二百千石  
大麥三石三斗  
小麥八斗  
大豆八石八斗  
小豆一石六斗  
粟二石五斗  
蕎麥二石五斗  
苳六斗五升  
大角豆二斗  
粟千二百メ目  
麻五十メ目  
李 梨 栗 柿 桃 梅



伏三十八日  
 布四十五反  
 木綿十反  
 木綿二反  
 稲藁二十束  
 カマキキ十束  
 口ラミノ二十領  
 千七百一十  
 大ニカラナス  
 南瓜 瓜 白芋  
 路 蓑 袴 タケノコ  
 山トリ六羽 キレ三羽  
 ニス七本 八二二

南方猿丸村ヨリ八丁

北方中畑村へ八丁

村名義ハ、白川ハ水勢甚ツキ川ナレバ、瀬ノカハリテ、淵ニナリタルヲ見ル人  
 皆々驚キテ、新淵ノ村ト云初レニヤ、侍ラハ、

産土神 子安明神

祭神 不詳

祭日

氏子

境内

無除地

法藏教寺

東本願寺宗高山照蓮寺末

本尊 阿弥陀如来

境内屋敷一段四畝步

元禄七甲戌年檢地名受道場安右五門同十二言卯年除地  
享保元年ヨリ今ノ寺号

驛舎

三尾河 一里半

新淵 四里ヨ

濃州郡上郡  
向鷲見

欄干橋

長幅

野俣村

高四十五石七斗二升八合

縦三十町  
横四十町

焼畑二十八町一段六畝廿二步

山林段別木敷不詳

家二十六戸

人百八十餘人

産物

大豆

苳

大豆

山トリ五  
ニス廿五本

キシ十五

兔十  
アキノ

米九石五斗  
 稗二百七十八石ヨ  
 大豆八石五斗  
 大辛四斗  
 小豆二石四斗  
 粟二十石七斗  
 蕎麥十石五斗  
 苳五石三斗  
 菜夕不五升



麻三六目指三目  
 李梁粟棧櫛  
 以三三三目  
 木綿十反  
 イナレロ六十束  
 布二十五反  
 ワラミノ百三領  
 ワラハ三十束  
 カハハキ二十足  
 乘十二百目  
 大コシカッラ  
 ナス白茅南風  
 キウリ牛旁  
 餅草ハメ目シケコ  
 山トリ五羽モシ十五羽  
 兔十足ハス二十束  
 エ六百キアキメ三升  
 イハ十三百六十

東方町屋村へ嶺越二里六丁  
 南方山

西方美濃国郡上郡  
 北方牧戸村二里餘  
国段六丁  
鶴見  
向麓見  
西山  
 村へ三里餘  
 高山十一里三丁

村名義ハ美濃國郡上郡ヨリ入来ルニ此村ニテ飛騨國府道下越中國城ヶ端升  
 波等ハ行路ト兩岐ニワカル地ナレバ野俣村ト名ヅケシニヤアラム

産土神白山社  
 祭神白山三社大神  
 境内一畝二十步  
 野岐ノ關

祭日 氏子

天正年中金森家國中平治ノ後四方出入ノ口ニ關ヲ建タル其一也  
 四本杭

關屋ヨリ路程半里西ニ當リテ美濃國界ニ在其傍示杭ハ本土ヨリ、

其路ノ兩側ニ二本美濃國郡上領主ヨリ二本宛建来リテ其處  
 ヲ四本杭ト唱キタレリ其處ヨリ美濃國西洞村等へ何レモ三里  
 許ナル曠野也鷲見ヶ上野ト云

或書奇特百  
歌撰云天正年金森長近入道素玄法印飛騨國ヲ伐治ムヘシト

秀吉公ヨリ命セラレケレバ金森林越前國ニテ軍勢ヲ揃へ飛州大野郡白  
 川郷ノ山間ヲ武者押スル所ニ向ヨリ行脚僧一人来リ狹キ山間ニテ行  
 合ス先手ノ諸卒不興シテ彼僧ヲ通サズ今日身方ノ軍勢國入ノ始イ  
 一タ敵ノ旗ヲ見ス然ニ僧ニ逢テ忌シ殊ニ當國ノ者又其終通ス法ヤル速ニ討  
 捨軍神ノ血祭ニセヨトクシ言ケレバ旅僧笑テ御身等僧ヲ不吉ナリト宣ヘトミカ大将  
 既ニ法躰ナラズヤ何ゾ我ヲトカミ咎玉フラム道理ヲ聞クト云金森法印馬上ヨリ



士卒ヲ制シテ、旅僧ニ向ヒ、只今諸卒ノ云處其謂ナキニモ非ス、然レモ汝一句ノ祝  
詞ヲ述ヨ、其ニ免レテ、此場ヲ通スベシト有ケレバ、旅僧即コ、是テ、金森法印ノ  
馬上ノ躰相ヲ見シニ、白キ革袴ヲハキノリケレバ、

大将ノメシタハカメノレラカハヤサテモニゴトニトリレビダカナ  
行脚 旅僧

カク詠ケレバ、サテモ仕タリト、數ノ軍兵、一同ニ聲ヲ發シテ勇ミケレバ、金森  
法印其作意ヲ賞シ、金錢ヲ與ヘテ、通サレケリ、カル危難ヲ遁レ、賞ニ逢テ風  
雅ノ徳、イト有カタシ、評云、金森法印士卒ノ微意ヲ等閑ニセズ、  
旅僧ノ奇オラ賞、無為ノ化ヲ自他ニ施ス、

一説ニ此狂歌ヲ吟シ、即白川ノ照蓮寺ノ、明了ト云リ、是ハ天正十三年  
七月ニテ、此時内々鳩兵庫頭  
氏理ノ家臣尾神備前守氏綱、岩瀬ノ橋ニテ、手痛ク支ヘケルニ  
ヨリ、白川郷ヲ最初ニ平治シテ、  
三木ヲ後ニ亡サトセラレケム、ヒト一ツ越前ニ歸リ、同年八月、牛丸又右衛門

金森法印越前ノ石徹白  
ヨリ、獄間ヲ登ラ尾上河  
ノホリ、白川へ出ラレタリ  
一先越前へ歸ラレタリ其  
石徹白道ハ是歲十二月  
ノ大地震ニテ、兩嶽ヨリ  
大岩土砂押埋テ、通路  
絶タリトナリ

綱親ノ郷導ニテ、越中へ回リ、ニツ屋ヨリウチイリ、三木ヲ亡ボシ、國內ヲ

討定メ、高山ニ城ヲ築キテ後、中野村ナル、照蓮寺、明了ヲ呼寄テ、天正

十六年、高山へ引移サレシトナリ、

野俣川 ノノミ 当村山中ヨリ出北流  
魚 鱒 ニ 石魚 雜魚

欄干橋 ラスリツキ 幅長 引渡

産土神、天照大御神 奈日 氏子 枝村

境内 無除地 奈日 氏子 枝村

同金精明神 奈日 氏子 枝村

奈神 境内 無除地 奈日 氏子 枝村



砲丸石

土ノ化石ナリ、生質脆ク軽シ色ハ大赭黄土鼠色等種々ノ色アリ形ハ圓キ石ニテ砲丸ノ目形ニニ多位ヨリ十多位ニテノ大小アリ、關屋ノ近辺ノ畑中ヨリ、毎年春耕ノ時、真鍮ニテ、ウチ出セリ、土民口碑ニ古シ九郎判官殿、此處ニテ休足レレ節ノ屎ノ化石ナリトゾ、故ニ判官石ト云トイヘリ、俗説トルニタラズ、

瀧 枝村瀧ケ野ノ川中ニアリ

野、俣川ノ流末ニ在、高一丈餘、幅モ同じ平水ニ、鱒瀧壺ニテ来リスヨリ、大雨降テ、水カサ増レ、瀧上ニ登ルトゾ、

枝村瀧ケ野

右ノ瀧、上ノ野ニアル村家ナレバ瀧ケ野ト云

同新町

名義

中畑村

高五十一石七斗二升五合

縦四幸間  
横ニテサ間

焼畑一町四畝步

外二町八畝步

享保十二未年獲

山林段別木數不詳

家十六戸

人百人餘

米三十二石五斗  
稗百三十四石  
大豆五石七斗  
小豆二石五斗  
粟九石五斗  
蕎麥三石  
荳三斗 本南豆二斗



粟五百石目  
 麻苧十九石目  
 烟草八十石  
 李梨椽  
 伏二五石分目木綿十友  
 口ラ三ノ六三領  
 布二十五友  
 稻遊二十二束  
 カハハキ廿五足  
 カシヤウ二百目  
 山トリ三羽キレ二羽  
 二五十五本  
 八五十二百  
 イ八十百五十

産物 大豆 苳 繭 干瓢  
山トリ三  
キレ一  
二五十五本

東方山 西方川向山 高山十二里ヨ

南方新洲村へ八丁 北方牧戸村へ六丁

村名義ハ詳ナラネト、試ニ白サバ、古レハ此村、及上下ノ隣村モ、水利ナレトテ、  
カミレミ  
ミツクヨリ

允テ陸田ヲ開キ、稗ヲノミ作リタリシ頃ニ、隣村ヲ上畑、  
隣村ヲ上畑  
下畑トイヒ
 此ヲ中畑ト稱シナ

ラム然ルヲ、後世ニ成マ、ニ、村民サガシラニ成テ、稗ヲノミ作ラムヨリハト

思ヒ、何レノ  
村モ辛シテ、河水ヲ堰上、水田ニナレテ、稻ヲモ聊作レル事ニナリシハ、

ヤ、後ノ事ナラム、元来寒冷ナル地理ナレバ、稗ノミ作レバ、凶年ニモ、少ハ秋成モアルベキヲ  
強テ稻ヲ作ル故ニ、早霜ノ年ニ、登ラズ自然飢及リ多シ可憐、

産土神白山社

祭神 白山三社大神

境内 無除地

祭日

氏子

白川

南方新洲村ヨリ北流牧戸村ニ至

魚 鯿ハエ 鱒ハス 石魚イシナ 雑魚サツコ

牧戸村

高二十四石一斗七升一合

段四丁十間  
横三丁廿間

焼畑二町七段五畝一步

外五町五段二步

享保十二未年渡

山林段別木數不詳

家十二戸

人四十餘人

米十九石八斗  
 稗七十七石六斗  
 大豆四石六斗  
 小豆五斗  
 粟四石六斗



蕎麥一石二斗  
 荳二斗八升  
 大豆五升  
 蘇十二目  
 ナシ五升  
 李梨栗櫻桃  
 狀一五四十八目  
 木綿五反  
 布三十反  
 ワラシノ四十四領  
 ナハ二十束  
 稲穂二十束  
 カハバキ十束  
 来  
 カウツ一斗  
 タバコ四十四斤  
 大コンカハラ  
 白茅南瓜  
 ナス路  
 山トリ三羽一五五本  
 八五五百五斤一三升

産物 前同

東方山

南方中畑一六丁

村名義ハ、往古馬ヲ野飼セシ、馬城ノ有シ處戸ハ借字ニテニヤ侍ラム、

産土神 天照大御神

境内

無餘地

祭日

氏子

向牧戸古城

岷江記 照蓮寺由来書一 内嶋將監條下 二、白川牧戸ノ城主ヲ、内ヶ嶋將監為氏トゾ稱ケル、

飛驒羊國 按、羊國ノ主ナラバ、富饒ノ地ヲ撰ミ住ベキニ、寒冷ニテ稗ナラテハ登 越中国砺

波郡ヲ、切シタガへ、果報ユ、レクゾオハシケル、子息上野、从雅氏モ武勇父ニ

劣ラズ、弓馬ノ藝、世ニ高クゾオハシケル、家老ニ、川尻備中山下市右衛門、

何レモ武道ノ達人ナリ、隣國ニテモ才チ畏レ、容易手サス者モナク、要害ノ

テタキ所ニトテ、牧戸ニ城ヲ構へ、上見又鷲ノコ、チニテ、募レオハシケリ、然ルニ

長亨二年 飛列志又ハ、心行坊縁起ニアル如ク、文明七年ノ秋ヲ、 七月中旬、或夜月ハクニナクサ

ヤカニテ、二千里外故人、心ニテ云ベキ夜、内ヶ嶋父子、高樓ニホリ、山下川尻ヲ

初メ、一族ノ面々ヲ招キ、酒宴ヲ開キ、酣ナル氏、父子主従相議テ正蓮

寺ノ威光願ル、奇怪ニ且長子教信、還俗シテ我名ヲ犯シ、三嶋將監ト

名ノリ、兵法武術ヲ鍛鍊、弓馬ヲ励ム、我家ヲネラフニキハミリスト

有ケレハ、上野从雅氏種ニナダメラレシカ氏、最早一致ナレバ、セム方ナク上野

从モ諸共ニ、七月十八日打立テ、飯嶋村ナル正蓮寺ノ門前へ、不意ニ押

寄タ、カヒテ、初ハ内ヶ島主從敗北セシガ、同八月越中国砺波郡ノ知行



ヨリ、加勢ヲ得テ、来テ血戦シ、三嶋將監ハ行方レズ、逃去、明教ハ卒堵渡  
峠ヨリ、取テ返レ、自殺セシトシ、此岷江記ハ甚コトクシク、牽強附會モ有ヘケレト  
車実ヲ失ハコトヲ恐レテ、其ニ要ヲ摘テ記シト見エ

夕レハ此古城ハ、村ヨリハ川向ナレハ、  
向收戸ト云ナルベシ、最初ハ、内々嶋將監為氏築キテ居城トセシガ

彼正蓮寺ヲ亡ホシテ後ハ、白川郷ノ最上ノ肥壤  
ト皆人ノイフナル、鳩谷、飯島、萩所、其他ヲ得テ、

其最寄ニテ要害ヲ撰ヒ、保木脇村ノ彼三村ヨリ、奥ヲ見立六、  
フカキ心アリテナルヘレ、帰雲山ニ新タニ

牧戸城ハ寛正ノ初ニ築クルベシ、カサリヌモ城壘ヲ築キテ移住、サテ收戸城ヲバ、家老ノ

川尻備中ニ預シカ與ヘシヤ侍ラム、

川尻備中氏信、飛州志ニ内嶋ノ長臣ナリ、向收戸城ニ居、川尻家説云、

江州多賀支流ニ、多賀ハ佐々木京極ノ分流ナリ、然ルニ天正年中、

雲山大地震ニテ崩落シ、氏信モ在城死亡ト見ユ、○按ニ寛正年中、

内々島為氏此收戸城ニ在シヨリ、天正十五年一説ニ  
十三年其孫氏理、帰雲城ニテ、

震災壓没シテ、百二十餘年ノ、星霜ヲ経タリ、最初ヨリ、臣屬タリシ

川尻モ三四代アルベケレド代々備中ヲ名ノル故、世代不分明ニヤ、

川尻勘平某ハ、氏信ノ男ニテ、天正年中、京都ニ在テ、震災ヲ遭シタリトゾ

飛州志ニ載タル如ク、川尻氏信、内々島ヲソムキ、  
金森林家ヲ嚮導セシハ浮説ニテ勘平ノ子成ヘシ、勘平ハ初メ君父ヲ内命ヲ奉テ、

越前ニ立越、金森林家ノ嚮導シテ、本土ヘ歸リ、臣屬シテ、天正十五年、知行

目録ヲ得シテ、享保年中、飛州志ニ載タルニヤ、其後、金森家ヲ離レシ事實不  
詳、其末葉ハ收戸村百姓、久左門

白川



魚 前同

牛九村

高四十一石一斗四升五合

縦五町五間  
横一町廿二間

燒畑五町三段六畝十二步

外十町七段二畝廿步  
享保十二未年渡

山林段別木數不詳

家十八戸

人百餘人

産物 前全

東方山

西方山

高山上里半ヨ

米三十五石二斗  
料百十四石ヨ  
大豆七石四斗  
小豆一石五斗  
粟十三石五斗  
蕎麥三石五斗  
苳六斗 大豆五斗  
麻二十九斗  
アサネ五斗  
李 梨 栗 橡 桃  
大ニ六十八斗目  
木綿十五反  
イナメシロ三十束

南方 牧戸村へ八丁

北方 岩瀬村へ卅丁

村名義ハ詳ニ知ラレド、試白サバ、續紀ニ板本朝臣佐留置始連宇佐

伎、錦部刀良秦大麻呂、大神朝臣柏麻呂等見エ、天正ノ頃ハ、加藤虎之助

山中鹿之助等有テ、獸名ヲ人ノ名ニ付ルハ、古今同一跡ナレバ、此村ハ人名

ヨリ負レニヤ有ラムカ、万葉集五卷三筑前国ノ鎮懐石ノ事ヲ言傳ヘシ、  
那珂郡 葦島ニ建部牛麻呂ト云レクモアリレトゾ、

産土神八幡宮

奈神應神天皇御霊

祭日

氏子

境内

無除地

元禄年中村長トモ檢地更ヘ不申云、甚可畏ケリ

蓮勝教寺

東本願寺宗高山照蓮寺末  
文明十五癸卯年開基

本尊阿弥陀如来

境内屋敷三畝十四步

元禄七甲戌年檢地名受道場太郎右衛門同十二卯年除地  
其後今ノ寺号ヲ唱フル年月不詳

白川

布四十五反  
八ドリ六十羽  
カニハキ百足  
末八百五斗目  
指四斗目烟草五十斤  
大コシカブラ  
白芋 ナス 南瓜  
胡瓜ユリ タケノコ  
山トリ三羽  
ニス二十本  
ハニ四百五十  
イナメシロ二十



魚 前同

岩瀨村 枝村 下瀧

燒畑六町五段五畝廿五步 照蓮寺納

高四石五斗九升

外高十六石八斗七升三合 照蓮寺領

山林段別木數不詳

家十三戶

人九十餘人

産物 前同

東方山

西方枝村下瀧

高山十二里

米三十石五斗  
稗百六十石五斗  
小麥二斗  
粟五石  
大豆十五石  
小豆五斗  
麻種五斗菜種六升  
粟千五百六十六目  
麻十三目  
烟草二十斤  
梅李梨栗椽榿  
杖三六十六目

北方赤谷村へ八丁

村名義ハ、文字ノ如ク、上白川ノ水、此村ニ至テ、岩石ニセカレテ流ル、  
瀨ノ多ケレバ、村名ニ負ルニヤ、侍ラム、  
枝村下瀧ハ、川上ニ猿九村ノ瀧ト野俣村  
瀧トニ對テ、カクハトナヘシナルヘシ、

産土神白山社

祭神白山三社大神

無除地 祭日 氏子

欄干橋 ラサリキハシ 長幅

照蓮寺記 慶長中 所誌 二、内カ島兵庫頭氏理家臣、川尻備中守氏信降金

森尚書法印、即為郷導士、天正十三年乙酉秋七月、経濃飛封疆布俣  
口將既征入、氏信同僚尾上備前守氏綱支於岩瀨橋、不能容、島、決  
然歸矣、更八月初、云云トアレバ、川尻氏信ハ、内島ニシムキ、金森勢ヲ導キ、

木綿五反  
ワラシ七十領  
布二十疋  
カニハキ二十疋  
棉疋十五束  
干ワラシ二目  
大コシカブラ  
白茅 ナス  
ゴボウ キウリ  
百合 茄子 菜  
タケノコ  
山トリ 三羽  
二ス十五本  
八五四百五十  
アキメ五升



先帰雲山城ヲ破亡サムトテ、此橋ニテ来リ、尾上氏綱ニ支ラレテ、是ヲ捨置、  
 上白川ヨリ松倉ニ向ニ向ハ、後ヲ食留ラレト、慮テ、越前ヘカヘリ、更ニ八月、  
 ニッ屋ヨリ、討入ラレ、レニコソ、入五十二、  
 白川  
 魚前全

赤谷村 アカタニ 枝村落部 エチノベ 和太 ワタ

高十四石四斗九升

縦九町廿間 四町廿間 二町三町 枝村 二町三町 枝村  
 横六町四間 内 三町廿間 赤谷 一町四間 和田 一町四間 落部

焼畑十八町四段二畝九步 照蓮寺ノ納

外高三十六石四斗一合 照蓮寺領

米二十五石六斗  
 稗三百九十石  
 大麥十石ヨ  
 小麥一石二斗  
 大豆二十石  
 小豆二石  
 粟十八石ヨ  
 荏二石六斗  
 菜三千九百五斗目  
 猪ニメ目  
 麻三千三目 畑草辛斤  
 梅李 棠 椽 栗 榧  
 伏一五六三目 木綿十五反  
 口ラミノ百領  
 布四十六反  
 稻庭二百字束  
 カハキ 五十足  
 大ニ五字本 カワラ 五十束  
 ナス 千五百 牛ボツ 廿五把  
 キウリ 白芋 二リ  
 マス 四十本  
 ハニ 三百五十

山林段別木數不詳

家二十七戸

人百八十餘人

産物 前同

東方山

南方岩瀬村ヘ八丁

村名義ハ、口碑ニ傳フ、大倉山内ヨリ、出ル谷水ガノツカラ赤地澁交レリ、

其ヲ見テ、古シヘ金山ヲ堀レ頃ヨリ、ス、水澁ツキテ、谷ノ水色赤

ケレバ、村名ニナリシトゾ、水澁ヲ赤澁澁トモイヘリ、

枝村落部名義不詳

西方川向中野村十二丁 高山十三里

北方

二ス四十本 アチメ六升



産土神白山社

祭神白山三社大神  
境内

無除地 祭日 氏子

一本宛 継引渡橋 長

白川へ掛渡海上村通行

同 継引渡橋 長

落部谷へ掛渡 岩瀬 高山へ通行

白川

魚 前同

森茂村 モリモ

焼畑一町四段六畝歩

外二町九段二畝歩 享保十二年渡

高九石五斗八升八合

縦二町六斗間 横二町十間

山林段別木數不詳

家十一戸

人三十餘人

産物 大豆 苳 山葵

大ニユ 小ニユ スカムシロ二十束

東方 大谷村へ嶺越二里半 西方山長瀬村へ二里半

高山九里半ヨ

南方 赤谷村へ二里半 北方山

村名義ハ文字ノニ成ベシ、和訓栞ニ、林叢ヲイフハ盛ノ義成ヘシ、  
杜ヲヨムハ 日本紀新

撰字鏡等ニ見エ万葉集ニ、神 俗ニ木林ヲヨムモ盛也、木多白アリ、  
里ノモ一山、 内ヲモスケ

稗六十五石  
蕎麥八石  
大麥一石  
小麥五斗  
大豆七石二斗  
小豆八斗  
苳一石五斗  
粟二百五十石  
麻十石  
李梨林檎栗榎椽  
大ニ四メ目  
小ニ二セメ目  
布十五疋  
苳十束  
干蕨三ノ目  
干狗脊菜六メ目  
米四石  
塩十俵  
茶百斤  
黄絹三ノ目



レテ木ノ叢生、繁茂  
セシ処ヲ、森トイフナリ、又葉ニ、茂ヲモシトヨメルハ、音ニアラス、モキヒモクヒヨミ

テ、神代紀ニ扶疏ヲシキモシト訓、皇代紀ニ、蒼蔚ヲモクシケシトヨメリ

云云、其ヲ躰言ニ、茂ト云テ、森林茂トハ、唱フルナラム、此村ニハ嶽モ有、森林茂

谷、又、六瓶山ニ、地獄谷、山葵谷、大志元伎等ノ、大陰山アリテ、諸木繁茂

タル地ナレバ、シカ号レニヤアラム、

産土神白山社

祭神白山三社大神  
境内五畝步

祭日

氏子

大師堂

本尊  
境内四畝步

金山跡

森林茂村ノ東、小島郷大谷村、アサナナフ、レダウケ、字奈不之嶺ノ麓、ニ、曠原アリテ、古キ溝渠ア

ア、メタ有テ、石垣ノ依然残レルモ、崩レテ落コミタルモ有、又フルキ石臼ハ、

彼方此方ニ、數多在生タルアリ、天保年中、礼彦其ヲ見テ、村長ニ問シニ、

答ケラク、是ハ昔天正ノ頃、茂住宗貞ト云ル人、金山ノ堀子ヲ、ア、メタ將テ

来テ、砂金ヲ掘テ、製タタル跡ナリト云、其制方ヲ問ケルニ、村長白ケル、

藁筵ヲア、メタ齋来テ、溝毎ニ布並へ、上ナル金山へ谷水ヲ引来テ、真鍮

モテ、セリ流シテ為レバ、土砂ハ、其性輕キ故、濁リテ上ヲ流シ、砂金ハ、其性

重ケレバ、沈ミテ筵ノ藁ノ、織目ニ懸リタルヲ見テ、水ヲ本ノ谷ニキリ

落シ、溝水ノ涸タル頃、筵ヲ取上テ、日ニ乾シテ、拂ヒ落シ、其ヲ撿集

テ、石臼ニテ引碎キ、淘汰盤ニテ淘分テ、砂金ヲ得シトゾ、礼彦其ヲ



米十三石五斗  
 稗二百二十石五斗  
 大麦三十石四斗  
 小麦二十石五斗  
 大豆三十石五斗  
 小豆一百石五斗  
 粟十石五斗ソバ五斗  
 麦八百石目ナメ四升  
 麻十五石目烟草二十石  
 梅李梨栗松楓  
 小二十七石目  
 木綿十二反  
 布二十六反  
 稲藁五十束  
 カニキ三十束  
 ワラミノ八十領  
 干ワラミ目  
 大コシカブラ  
 ナス 南瓜  
 白芋 牛蒡 瓜  
 百合 タケノコ  
 山トリ 三羽キビ 二羽

中野村

高七石五斗八升  
 山林段別木数不詳  
 家二十戸  
 人百二十餘人

産物 大豆 苳 繭  
 木耳

東方川向赤谷村十二丁  
 西方山  
 南方岩瀬村へ三十丁  
 北方海上村へ六丁

村名義ハ、往古此村ヲ、開カムトセシ頃上下ナル野ハ、地理モ瘠タレハ肥壤タル中野ヲ、新墾シテ田畑ヲ起シ、農家ヲ建シ故、村名ニ負シニヤアラム、

焼畑一町五段八畝歩  
 外三町一段六畝歩 享保十二年申渡  
 焼畑七段六畝十八歩  
 照蓮寺領 縦五町 横二町十間  
 照蓮寺へ納

聞テ其ハ手数モカ、ラテ、大寶ヲ得ル術ナリ、イカテ村民、今ハ夕其ヲ為テムト云レニ、村長答ケルヤウ、金山ニ心ヲツクセバ相應ニ砂金ハ得ツベレ、其砂金ニテ融通ノ金銀ヲ得レバ、自然心奢リテ、美味ヲ好市間へ出テ、村ノ山畑ノ荒行ヲモ顧ス、村へモ帰リガタク、終ニ他國へ出テ、金山ノ持ヲスベレ、然レハ妻子ハ飢テ、他村ノ路頭ニ迷フベレ、唯山村ノ百姓、永續ノ術ハ僅ナル山畑ナリ、氏身カラ尽シナバ、妻子モ安穩ニ、世ヲ過スベレ、怒力金山ニテ、手ヲ掛ソト、父祖ノ遺誠ナリ、ト言シテ聞テ、是亦充ナルヲ哉ト云テ止レテアリキ、

森茂谷 小地獄谷 山葵谷 大志无伎  
 檜 黒檜 姫子  
 鳥 草 歟



又按三川上ニ岩瀬野アリ、川下ニ海上邑ノ沖野ト云アレ、此處ヲ中野ト云

ニヤ、

産土神八幡宮

祭神應神天皇御靈

境内一段一畝十步 除地

祭日

氏子

光曜山照蓮寺後住心行坊

東本願寺宗高山照蓮寺掛所鳩ヶ谷道場建長五癸丑年  
開基善俊中野移住長亨二戊申年中興明心

本尊阿弥陀如来

立像二尺七寸五分 春日作

境内四町五段四畝十七步

林二町三段二畝廿五步

除地

高

高山照蓮寺二記

金森法印ノ命ニ依テ、天正十五丁亥年照蓮寺十三世明了、高山ニ移住、其

後寺院ヲ十四世明海相續シテ、心行坊ト号、(飛州志ニ寺説曰、人皇八十

二代、後鳥羽帝、第二皇子、出家シ玉ヒテ、親鸞上人ノ弟子ト成、法諱ヲ

周觀ト称、後善性ト改

按ニ大日本史、後鳥羽天皇本紀、同皇子列傳、其外國史小史ニ載サレ、

實否詳ナラス、然レモ、寺ニ敕使門トテ、古クヨリ建来リ、國中此末寺同宗ノ

者等ハ、岷江記、心行坊縁起等ニ泥ミテ、レカ思ヒ、崇メ来レルヲナレバ、先ツ

的證ヲ見ルニテハ、後考ノ為ニ記置ノミ、

是越後國、淨興寺ノ開祖ナリ、

越後へ移リシハ、遙ニ後ノ永祿年中ヨリモ後ノ由ナリ、(五箇ノ山ニテ)

善性第二子ヲ善俊ト云、建保二年越後國ニ生ル、



心行坊縁起ニハ常陸國ニ生ルトアリ、永祿年中ヨリ後ナラテハ越後

國トハ如何、年代ノ前後ヲワキマヘサル寺説ク、伊豆國三島ニテ成

長シ岷江記ニハ流人トアラドイカ、ト部某ト名ナリケルガ、善信後云 関東ヨリ帰京ヲ

聞、函嶺ニ出迎ヘ弟子ト成、嘉念坊善俊ト云、善信ノ一字授カル 九字ノ名

号ト、黄袈裟衣ノ自画像ヲ授カリ善信ノ跡ヲシタヒ京上レリ、

宝徳建長五年年中ニ至テ飛州白川郷鳩谷ニ来リ初テ一寺ヲ建、鳩谷道場是也、寺説ノ

宝徳ニテハ、善俊二百三十餘歳ニテイカ、建長五年ハ善俊四十歳也、岷江記

ニ、美濃國白鳥ニ寓居シテ、宗風ヲ弘メ、其後鳩谷ニ来レル由也、道場ヲ飯島ニ移セルハ

其ヨリ年ヘテ、弘安五壬午年三月三日六十九歳ニテ寂入、善俊ノ

善俊第九世明教力時ニ至リ、文明年中、七年同郷帰雲、城主内嶋兵庫頭

○為氏ト戦シガ、明教終ニ打負テ為氏ノ為ニ討タル、岷江記ニハ

岷江記ニハ、牧戸城主内嶋將為氏トセリ、明教ノ兄三嶋將監ハ寄手ノ

中へ、長刀ヲ振テカケ入、其ニ行方シレス、明教ハ九字名号ト、開山ノ自

画像ヲ携ヘ、飯嶋村ノ卒都婆峠ノ林中ニ隠レシガ、飼犬ノ吼声ヲ聞、敵

追来ルヲ見テ、兩幅ヲ老木ノ空洞ニ藏シ、明教名ノリ出テ自殺セリ、

其時明教ニ子アリ、乳母懷ニ藏シ加洲ニ走ル、

一子ニ歳亀壽丸、後云 明心乳母、岷江記ニハ女房トアリ、此時 ニイダカレ、市村太郎右衛門

開祖善俊伊豆國三島ヨリ、連来ル僕ノ末葉ナリトゾ ト諸氏ニ逃テ、小白川ニ去、敵追ツキニ、川ヲ隔テ、龜壽

カ肚門ヲ見セ、女子ト欺キテ、遁レ去レトゾ、

成長ノ後嘉念坊明心ト云、濃州白鳥ニテ、一寺ヲ建立シテ、夫ヨリ舊地飛州



白川郷鳩谷ニ来リ、父ノ讐ヲ報ムト計レガ、本願寺蓮如上人ノ扱ニ因テ、明心ヲ為氏カ塔ニイタシ、双方和睦セリ、

龜壽ハ、加賀越前ノ門ニテ、成長セレガ、十五歳ノ時、蓮如ニ謁

内島ノイヲ申之、アツカヒニ成、内嶋雅氏ノ塔ニ成レトシ、

此時長亨年中鳩谷ノ坊舎ヲ今中野ノ地ニ移レテ山寺号ヲ

称スルモノ是也 鳩谷ノ旧地今ハ寺カ野ト云

此寺説ト、心行坊縁起ト、岷江記ノ三書異説交リ、年曆モ<sup>クニチカヒ</sup>齟齬

タリ、サレドモ、外ニ據ヘキ書ナケレバ、妄説ハ僧等ノ常々トシテ

記レテ

○本堂 飛州志ニ八間四面長亨二年建之此時鳩谷山中ニ希代ノ大

杉一本有

○岷江記ニ開祖善俊ノ所植ナラムトアリ、サモアラム、縁起ニ鹿射香

杉ト云レトアリ、

○此一本ヲ以建ル処是也、本堂一字、曾テ餘木ヲ交ヘズ、柱桁梁ヲ初メ、聊

ナル小材ニ至ル迄、悉ク杉一本ヲ用ヒ造レリ、

其美材云フ計リナレ今世其杉ノ旧根鳩谷ノ山中ニアリ

白川郷險難ノ崖路ヲ柱桁梁等ノ長材イカニシテ運ヒツラム

イト不審

○中門 又云勅使門ト称セリ来由未詳

○倭漢三才圖會卷第六十八曰、越後國淨興寺、在高田 東派院家末寺

百有餘寺、親慈鳥上ノ貞永元年、

源右大将薨去三十三年後

常州稻田郡

此郡名、常陸國ニハサラナリ



延喜式ニテ和名抄モ、フキヤ雪吹谷村建寺附周觀周觀後鳥羽帝第二

皇子長仁親王後三雜髮シ玉氏周觀トハ申奉ラス都テ後鳥羽天皇出家登叡十一皇子ニシテ七臣善信ノ弟子周觀ト申ハ列傳ニハ一レニサズ

岳後在常州歸依鸞鳥師為弟子改名善性上人移信州長沼年曆

頼朝公寄敷地三千貫自永元年スラ頼朝薨去ヨリ三十三年後也ソレヨリ又遂後

足利將軍ノ代用ニト頼朝公ニ再生セシハ如何又貫高ハ允例録ニ北條時宗ノ時ニ起リ

在高田下畧イトノミダリナルツタヘニテヨリトコロトハシガクナム

中門棟札 于時天正二年甲戌七月七日再興造立當寺住持善了

大工加州石川郡野之市素山新右衛門尉藤原長宗權大工子息惣五郎

鐘銘 建武元年三月十二日安國寺飛州志ニ本土吉城郡大平山安國寺ノ鐘

九年ヲ曆テ正平ニナルベシト云レド彼安國寺ハ興國元年ヨリ所持来由不詳

○内ヶ嶋ノ田領白川郷小鳥郷イヒトシロ石徹白彦右衛門尉長澄領セラガ慶長元年秋

伏見ニテ病死セリ嗣子ナキニ依出雲守ノ領知トナリヌ其臣岩田弥助點

檢ノ為村ニテ巡リ當寺ニ来住持馳走セラレカ酒闌ニ及ビ賓主酩酊セラ

故ナキニ諍罵合テ互摑アヒ誤テ弥助ガ左手ノ拇ヲ傷折タリレガ其憤ニ

依テ其年十一月高山照蓮寺ヲ放火焼亡セリ其後露頭ニ及テ金森

出雲守彼弥助ヲ放逐セラレス弥助ハ其後行方知ズ成ヌト照蓮寺ニ見エ

タリ慎ムベキハ武臣醉後ノ争諍ニコソ

岷江記ニ石徹白長澄伏見ニテ病死後家ニ百石与千四百石ヲ取上ラレ其代

官ヲ岩田ニ命ラレシガ石徹白中野村住居ケレバ弥助来リテ其趣并

家ヤレキ家賦諸道具迄可受取ト云ケルヲ石徹白家人拒ミケルヲ高山

明人考文未ニ記



照蓮寺等安 明了 亦名 田且ニ来リ、取アツカヒテ、岩田ガ非分ヲ、サシ押スル

恨ニヨリテ、明了ノ上京後ニ、照蓮寺ヲ焼シトシ、

光輪教寺 東本願寺宗高山照蓮寺末  
延徳元己酉年開基

本尊阿弥陀如来 裡書本願寺実如在判藤州白川善俊門徒岩瀬願主淨法  
境内屋敷一段廿三步除地

此寺岩瀬村ヨリ、中野村へ移住、年代詳ナラズ、此寺ヲ百姓市源右衛門ト

云、内カ島ノ末孫トテ、系圖ヲ出シシド、後ニ附會セシト見エバ畧又、

金森領國中モ、然アリケム、元禄以後ハ、代々白川郷數村ハラス、カネタカ兼帶名主ト

ナリ中野源右衛門トテ、明メキタリトゾ、

明人秀文

○永禄年中、明國ヨリ来リ歸化シ、當寺ニ潛匿テ、數年居テ、禊其外画ヲ

ア、夕カキテ後、大野郡石浦村ニ来、閑居テ歿ス、當寺ノ其遺墨ヲ、

合近世ニテ、縣令郡丞、ヨリノ、聞出求得テ、數多江戸へ持去又、可惜

コトニコソ

白川 南方岩瀬村ヨリ北流海上村ニ至

魚ハエ 鯿イハナ 石魚ニス 鱒アユ 年魚ガッコ 雜魚

海上村 ウカイキヤウ 枝村 シタカイシヤウ

高二石六斗八升

外高十二石七斗八升七合 照蓮寺領

縦四町十間  
横一町五十間

焼畑五町二段七畝廿六步 照蓮寺へ納



米十五石五斗  
 稗二百四十石  
 大麥三石五斗  
 粟五石六斗  
 大豆十三石四斗  
 小豆十三石四斗  
 ナメ子一斗  
 粟二十石六斗  
 麻一斗  
 麻十六目  
 烟草九十斤  
 李梨栗椽榧  
 小二百十目木綿十五疋  
 ワラミノ百領  
 布二十六疋  
 稲苧廿五束  
 カニハキ廿五疋  
 大コシカアラナス  
 ゴホウ 白芋  
 南爪  
 タケノコ  
 山トリ五羽鴨一羽  
 二ス二十五本  
 ハニ五百五十  
 アサメ五十  
 ガワコ五十

山林段別木數不詳

家十四戸

人百二十餘人

産物 前同

東方川向

南方中野村(六丁)

村名義不詳、種々妄説アリ

野村ニ照蓮寺建立ノ時、法中ノ僧徒

會所ヲ建シヨリ、會所ニト云レテ、後ニ訛リテ、海上ト書シナラムカ、

又按ニ上古年代不知流末、今ノ福嶋ボキ陰崖ボキナド、地震ニテ山崩テ、河水ヲ

山トリ五キジ カモ一  
二ス二十五本 アサメ五十

西方尾上郷へ嶺越六十町半ヨ

北方川向尾神村へ八町 高山十三里

按ニ長亨年中、秋明心下白川ヨリ来テ、中野ニ六丁其外止宿シテ、可宿

家ナケレバ、中野ノ枝枝ナル 此處ニ

壅ギ、上白川ト男神川ト、落合ノ水湛ヘテ、海ノ如ク成シ故、海上ノ名ニ首テ、

今モ字沖野ト云ル、耕地ノアルナラムカ、

弥勒堂一宇

本尊

境内 無餘地

逆枝銀杏一本 目通一丈二尺廻

一本宛四継引渡橋 長十八間 雨師河へ掛渡越中往還

日崎

海上村ノ北ノ方ニ、上白川ト靈龍河トノ、水ノ落アテ川股ニテ、三町許ニ

サレ出タル洲サキ嘴サキニ、其ヲ日崎ト云、松林アリテ、海崎ニ髣髴タリ、口碑ニ



釋四石三斗  
蕎麥一石五斗  
大豆四石五斗  
小豆一石二斗

粟一石五斗  
麻種五斗  
ナタネ一升  
粟六百メ目  
麻三百メ目  
梅李梨栗橡  
伏二三十メ目  
木綿二反  
布五疋  
稻筵四束  
木皮葦十五領  
カハヒキ五疋  
大コンカガラ  
ナス南瓜  
瓜白芋百合

傳タルニ、古レ何國ノ落人カ、来テ住居セシ跡ニテ、堀ト埴トノ跡、  
残りタリトゾ、尾神村ニ直對ヘル出崎ナレバ、天正ノ頃一テハ、尾神備前  
守モ、コ、ニ住シ跡ナラムカ、

白川 魚前同

尾上郷村

焼畑八段歩

外一町六段歩

享保十二年渡

焼畑二町六畝九歩

照蓮寺納

高四石二斗五升

外高一石四斗二升九合

照蓮寺領

縦一町四十間  
横四十五間

山林段別木數不詳

家二戸

人三十餘人

産物

大豆

荳

繭 三十メ目

山葵

東方

海上村へ嶺越一里半ヨ  
川向尾神村へ一里

西方嶽

南方山

北方嶽

高山十四里半ヨ

村名義ハ此村へ流出ル川ノ水源ハ白山三社ノ内伊勢諾尊ヲ祭リタル  
越前ノ別山ノ裏嶽ニテ四海波嶽之其ハ男神ヲ祀リタル山ヨリ流出ル  
川ナレバ男神川ト、水源深遠ケレバ、大河ニテ、東ニ流レ出、尾神村ニテ、  
上白川ニ落合、北ニ流レテ越中國砺波郡ニ出、万葉集十七 解十七下 二礪波郡  
雄神ノ河邊作歌一首、大伴宿禰家持、字加未河泊、久礼奈為爾保布、字等  
賣良之葦附等流登湍爾多、須良之、  
神名帳越中國砺波郡 雄神ニ社有ト解ニ出トアレバ、此河ノ流



一説ニ古シク男神川ヨリ  
越前石徹白へ通路アリ  
ラ天正十三年金森勢  
来リテ岩瀬ノ橋ヨリ  
一ト先ツ別カヘサレシ其山  
路ニテ四海波タケト高砂  
タケトノ間ニ在レラ其天正  
十三年十一月大地震ニ  
両嶽ヨリ岩石王砂崩落  
山路ヲ埋絶クリトナリ

末ヲモ然稱カ、又ハ同郡ノ内ニテ、別處ナルカ、不詳、又ハ當村ノ山ニ日照嶽モア  
ハ假字ハタカヘト雷龍河義我

産土神白山社

祭神 白山三神大神  
境内 無除地

男神川

尾神河ノ水源ハ白山ニ連レハ四海波嶽ヨリ出高砂嶽ト大日嶽等ヨリ

支源流レ出、源ニテ、七里餘有トゾ、村家モ通路モナシ、雪中峯越ノ平生

河ニ沿テ、水源ヲ極看タル者ナレトゾ、寒水石 大小種々アリ色白キ  
水晶ノ如シ是ラ碎クニ

皆方石 木葉石 川原ニ在

魚 鱒 鱒 石魚 阿麻古 雜魚  
イハヤ 阿麻古谷ニアリ昔平 有ト云 鱒ニテ見分ルト云 ノミヌリ

岩窟 團子谷 大石小石トモ九キ一團子ノ如シト云 野候村ノ砲丸石トハ異ニトゾ



木葉石ハ色黄ニシテ大楯ノ色ヲ含メリ  
生質脆柔ナリ土ノ化タルナルヘシ形ハ大  
蛤ノ如シ割レハニツニナリ中ニ木葉ノ  
紋アリ



四海波嶽 高砂嶽 頂上ノ大岩石東面ニ青海波ノ大紋アリタツケリ故ニ四海波ト云越前ニテ別山ト唱フ西麓ヨリ登山伊弉諾尊ヲ祭リ

大日嶽

何レモ白山ニ連レル嶽ニテ平生雪アリ

本谷山 丸山 千峰 塩處 大尾谷 寒谷 鳥倉 山葵谷

日照谷 岳元 大谷

草

木 檜 黒檜 姫

鳥 鷲 鷓

獸 熊 猪 麤ニシテ羊ク

尾神村 ヲカミ

此村以北ノ村ミラ中切ト云

高二石三斗六升七合

縦二町三十間 焼畑五段歩 外一町歩 享保十二未年渡 横四十間 焼畑四町七段二畝五歩 照蓮寺ノ納

外高三石三斗九升六合 照蓮寺領

山林段別木數不詳

家六戸

人六十餘人

産物

硝石 繭 三メ百目 甲六メ目 布 三足 大豆 苳 クラレ一足 山トリ三 八九 イハナ ガコ

東方川向長瀬枝村秋町へ羊リ 西方川向尾上郷村へ一里

南方川向海上村へ八丁

北方步危越福嶋へ一里半 高十三里八丁

村名義八古へ尾上郷ト一村ニテ水源四海波嶽ノ伊弉諾尊ヲ祭リ

米二石八斗  
稗二十八石五斗  
大麥一石一斗二升  
粟一石六斗六升  
大豆一石四斗五升  
小豆四斗  
粟千八百メ目  
麻二石四百目  
栗桶椽梨  
大ニニア百目  
小ニニア百目  
布三足  
稲筵四束  
絁百五十目  
ゲンドリ十二領  
大根 蕪青ニシレン  
牛旁 茄子 白芋  
大角豆キマリ南瓜  
葱 ヤアガミレウブ



山ノリ三羽  
鷹羊一疋  
鯨二百石魚二百  
雜魚千

○近國ノ神ヲ移シタスル  
例多クハ此ノ國ヲ示シ  
三内ノ嶋為氏ノ城中國  
砥波郡ノ神領也其後成  
正年ルヘシ又ハ能事ハ神  
村ノ向神河村ニ日照岳  
モツレハ神領ナル龍神ヲ祭  
リ多岐雲龍村ヲ義三ノ神名  
河内國淡路郡志賀天神社  
石川郡大津ノ加賀天神社和  
泉國和泉郡志賀天神社和  
前國津井郡志賀天神社大  
和國吉野郡丹生川上向神  
社其外 等々レハナリ 門能事ノ僧  
也 嶋ノ神領ヲ示シタル神領  
也 神領中ノ地也 神領ノ地也  
神領ノ地也 神領ノ地也 神領  
ノ地也 神領ノ地也 神領ノ地  
也 神領ノ地也 神領ノ地也

故男神村ト云レナラム、尾ハ借字ニテ、男神ノ義カ、延喜式神名  
帳ニ、和泉國日根郡、男神ノ社、越中國、砥波郡、雄神社アリ、  
産土神

稱名教寺 東本願寺宗高山照蓮寺末  
永正十二乙亥年開基

本尊阿弥陀如来  
境内屋敷七畝廿九步

尾神備前守氏綱

内ケ嶋家臣ニテ、二三代續レカ未詳、天正年中ノ備前守氏綱ハ

主家内ケ島上野及雅氏ノ女兵庫頭ヲ尚セリ、天正十三年乙酉七月、

同僚牧戸ノ城主、川尻備前中守ハ越前大野城主、金森法印ノ先導

シテ、責來リレ氏、氏綱兵卒ヲ將テ、岩瀬ニテ、手痛ク防御シニ

依テ、金森勢一先、越前へ引返シ、越中長谷へ廻リ、本土吉城郡、

ニッ屋ロヨリ責入ヌ、備前守氏綱ハ天正十五年、大地震ノ時、

歸雲城ニテ、主人内ケ嶋兵庫頭氏理一同ニ、壓死タルニヤ、事蹟

詳ナラス、

白川

魚 鯨 石魚 阿遲米 鱒 羊魚 雜魚 引渡橋

福嶋村

焼畑四段五畝步  
外九段步  
焼畑五段八畝步

享保十二未年渡  
照蓮寺へ納



米一斗  
 稗五石五斗  
 大麥二斗  
 大豆四斗  
 小豆一斗  
 菜四々百目  
 麻一々六百目  
 栗檜橡柰三三  
 大二三四々六百目  
 小二三四々六目  
 布二足  
 稻三三枚  
 紐百目  
 バンドリ六領  
 大コシカブラ  
 コホリ 茄子  
 白芋 葱  
 大角豆 胡瓜  
 南瓜 艾葉  
 ヤアサミ  
 山ドリ三羽  
 カシ、一足  
 後三足 年魚百  
 鰯三百 雜魚千

産土神

村名義未詳、諸国ニ多カル地名ナリ、

南方步危越尾神村へ一里

北方牧村へ三十丁十四里八丁

吉向山

東方橋向長瀬枝村秋町へ半里、西方山

産物 硝石 繭 布 干狗脊

人十餘人

家二戸

山林段別木數不詳

高一石四斗 外高三石二斗九升四合 照蓮寺領

縦一町三十間 横三十九間





福嶋歩危

福嶋村ト、尾神村トノ間ナル岩山人、絶壁ヲ斫割テ、路ヲ作レリ、郷中ニモ  
國內ニモ比類ナキ、險難ノ歩危路ニテ、鬚摺罽丸縮等ノ、名ニ負フ  
難所アリ、雪中ハ昏、長瀬枝村秋町へ渡リ、其崖路ヲ避テ、行通へド、  
是亦一本七継ノ長橋アリテ、中間ニテ自然動搖ヌレバ、其危キ一ハ薄氷ヲ  
踏ガゴトシ、

白川 魚 前同

一本九継引渡橋 長 川東秋町へ通行

牧村

焼畑六段歩 外一町二段歩 享保十二年渡  
焼畑七段五畝歩 照蓮寺へ納

高一石八斗五分

外高五石七斗七合 照蓮寺領 縦三町 横四十間

山林段別木數不詳

家二戸

人三十餘人

産物

前同 大ニユ セニイ クラレニ疋 サル疋疋  
小ニユ 布 アユ ハエ

東方 川向 温水

西方山

高山十五里

南方 福嶋村へ三十丁

北方 御母衣橋へ三丁

村名義ハ白川郷中切 尾神村、組ヲ云ヨリ、下白川ハ、崖路險シクテ、馬ハツカシ、イニエヨリウレ  
ノニツカフ村ナレ、其ヲ飼レ牧野ニヤ、サレド隣村へ遠ク、家モ少キ、村ニレ

- 米一石六斗
- 俾十六石
- 大麥一石二斗
- 粟五斗
- 大豆一石二斗
- 小豆一斗二升
- 粟千五百目
- 麻一ノ百目
- 粟檜椽 黎 五斗
- 大ニユ三ノ三目
- 小ニユ三ノ三目
- 布二疋
- 稲筵一束半
- 紐二百目
- バントリ八領
- 大コシカフラ
- ゴホウ 茄子
- 白芋 大角豆
- 胡瓜 南瓜
- 葱 艾葉
- ヤマアザミ
- 山ドリニ羽猪一疋



カニ一足  
後七足  
アユ五百  
鯉八百  
石奥五百

アハ、牛牧ニテモアラジ、又真木ノ立、荒山中ニモアラス、然レバ此村ニ至リ、  
白川ノ水、盤渦ヲ流ル、故、方言ニ渦卷ヲ只ニイフ末岐ト云村名ニ負シカ、未詳  
産土神

白川 魚前同

竹籠渡 大綱長五十間 川東長瀬枝村温水ニ通行

長瀬村 枝村秋町 稗田

焼畑八町歩 外十六町歩 享保十二年渡

高四十八石三斗二升三合

山林段別木数不詳

家十三戸

人二百二十餘人

熊一足 猪一足 羚羊三足 猿三足 狐二足 兔二足

産物 前合 大ニエ 布十七足 小ニエ

東方山

西方白川 御母衣十丁

高山十五里十丁

南方枝村秋町へ

北方枝村稗田 木谷村一里

村名義ハ、此村、又枝村ノ秋町モ、稗田モ、白川ノ東ノ崖上ニアリテ、一村ノ内ノ  
里數三里許モ有スベシ、其間川瀬ノ長クツバケル故ニ、名ニ負シナラム、

米 八石九斗  
稗 百廿八石  
大麥 四石五斗  
粟 二石三斗  
大豆 七石四斗  
小豆 一石四斗  
菜種 五升  
粟 六千二百目  
麻 十四目  
栗 櫛ヒヨヒ柿  
大綱 二十目  
小ニエ 百九十八目  
布 十七足  
縮 十束  
山ドリ 五羽 雉子 三羽  
クニ一足 猪一足  
カニ一足  
ウサギ 三足 狐 二足  
ハニ 八百 石魚 七百



枝村秋町

同 稗田ヒユダの地理トヨノサマノミナル名義ナルベシ。神名式三武藏國荏原郡稗田神社アリ、姓名三古事記ヲ傳ハタル稗田阿礼アリ、

産土神天照大御神宮

氏子

境内

無除地

同白山社二社

秋町六回半 一畝九步  
稗田六回半 七十七步

淨樂教寺

東本願寺宗高山照蓮寺末  
天文五丙申年園基創建僧淨西

本尊阿弥陀如来

境内屋敷六畝七步

元禄七甲戌年檢地名受道場弥右五門同十二巳卯年除地  
其後今ノ寺号ヲ唱フル年月不詳

白川

魚前全

一本 繼引渡橋

御母衣村

枝村 揚洞

焼畑八段五畝步

外一町七段步

享保十二未年渡

焼畑一町二段九畝十七步

照蓮寺へ納

高二石

外九石二斗六升六合

照蓮寺領

縦二町五十回  
横二町十回

山林段別木數不詳

家四戸

人七十餘人

産物

前全 大三五 葛粉八斗  
小一五 布 十五疋

クラレニ疋 廿九十三 山トリ三  
アユ 八エ

東方川向長瀬村へ十丁

西方山

高山十五里三丁

南方牧村へ三丁

北方大白川向平瀬村へ二十丁

村名義ハ未詳、按ニ和訓栞中ニ、三ツ口ハ泥濘ヲ云、三ツ口ノ轉ナルヘシ山

城愛宕郡、三ツ口池モ、三ツ口村ニ在テ、都名所圖会 後玄武 二出御菩薩池ト  
カケルハ平相回代 類聚

米 二石八斗  
稗 二十二石  
大麦 一石五斗  
粟 八斗  
大豆 二石五斗  
小豆 八斗  
菜 三十二百目  
麻 二ノ四百目  
栗 檜 檜 柿 七ヨロ  
大ニ二百七十目  
小ニ二百七十目  
布 三疋  
稻 三束  
経 二百目  
葛粉 八斗  
パントリ 二十領  
大コシ 二百本  
カガラ 五百束  
胡蘿蔔 五十本  
ゴホフ 百五十本  
ナス 五百五十  
葱 二ノ目



如芋一石六斗  
白芋二石三斗  
胡瓜百  
南瓜七百五十  
艾葉百目  
ヤアサミ百束  
山トリ三羽  
鷹一疋  
後十三疋  
年奥百三十  
籾四百  
石実三百

國史泥濘池ニ作リ、此御母衣、村名ニ濁池ヨリ出タル泥濘トイヘル村名

ヲ轉タルニハアラレカ

産土神白山社

祭神白山比咩神  
境内四歩 除地

祭日

氏子 一村四戸

御母衣池

直径十五間 濁水深一丈

枝村揚洞

名義不詳

白川

魚 前全

一本三継引渡橋

大白川ヘカケ渡  
長十五間 幅一尺七寸

大白川 南岸、御母衣、川原ニ在シト云

往年奇シキ石ヲ其里人ヨリ得ッ

一ツハ圓、如シ今一ツハ聊ハサクラ薄ク画キ

タルヲ彫ニ如クナリキ 當時ノ縣令、小野

高福ニ表裏上下左右皆散

シ、他ビラナスカタアマタマリ

深五六重ヨリ一分幅三四厘許

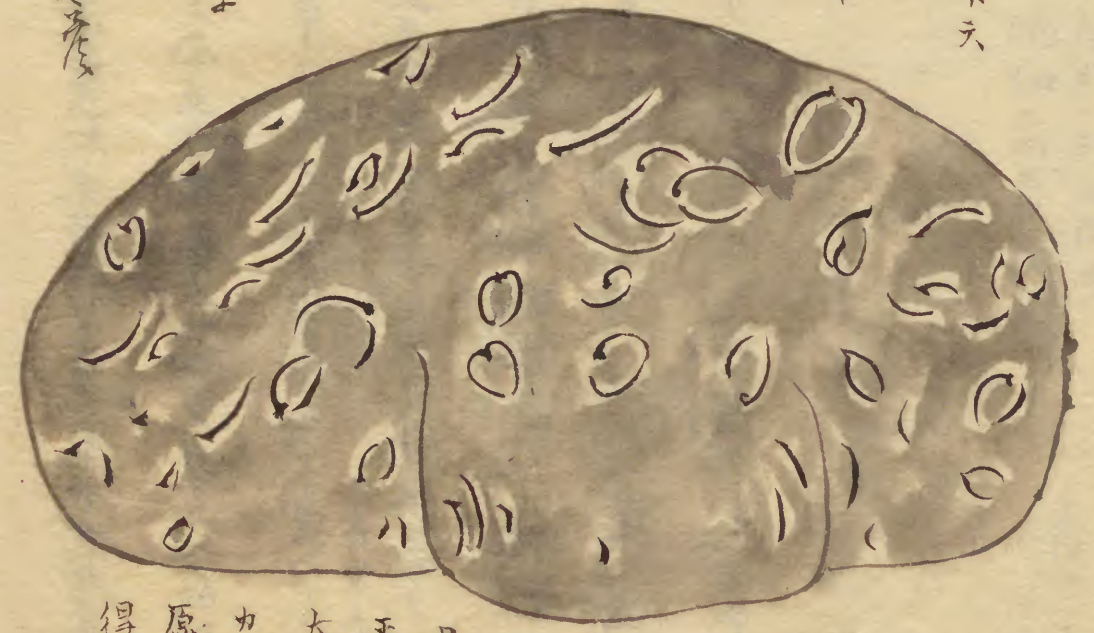
細キ鑿モテ彫付タラムガ如シ

其ヲ花、雪吹ト名ツケヌ

志、心ノ非ヤスハ彫ツル

ふれ、心ノ非ヤスハ彫ツル

不ぞいウヤ雕のりけ衆



石性堅剛

色濃鼠色

長六寸餘

幅三寸

高二寸四

世人作此物

ナラス是ツ寶

神道ト云ム

是、彼川原ニ

平生、得テナシ

大水出テ淵瀬、

カハリシ後、其川

原ヲ尋ヒタカ、

得ルテ有トゾ



米一石四斗五升  
 稗六十二石  
 大豆三石八斗  
 小豆三斗四升  
 粟四斗五升  
 麻八斗  
 粟糠楮梨柿七斗  
 大二百三十二目  
 小二百三十二目  
 布十疋  
 稻三束  
 經二百目  
 葛粉五石五斗  
 バンドリ三十領  
 山葵三升  
 草蓆一丈五目  
 千草蓆十目  
 大コシカブラ  
 ニンジン半旁  
 茄子 葱

此白川郷ノ村里ノ山ニ忍草石木葉石トテイトサガレキ山上ヨリ

落テ割タル石ノ面ニ墨モテ今エガキタラム如ク見ユル石アタアリ、又

鼠色ナル石ニオノツカラ忍草ノ魚ノ浮出タルナド、サマクアリ、又六方石

トテ六方ナル莖アミタ數本連並タル長一二寸ナルアリ、色水晶ノ如シ、飛州志

ニハ是火晶也トアリ、文久年中、増田頼興ヨロオキ縣令タリシ頃、郡丞川嶋知脩トモナカ

當郷萩町村ヨリ得タルハ、イト大ナリケレバ、江戸へ遣テ、至人ミナニスリ磨カ

セケルニ、圓径一寸有餘ニナリヌ、一ツ疵アリキ、可惜アキラシキコトナリトイヒテヤニス、

平瀬村

縦二町五十四間横二十間

焼畑一町五段歩  
 焼畑二町九段一畝二歩

享保十二未年渡  
 照蓮寺へ掛

高四石六斗

外高十二石六斗五升 照蓮寺領

山林段別木數不詳

家七戸

人百十餘人

産物 前同

大ニニ 葛粉五石五斗 熊ニ疋 猪ニ疋 鈴羊ニ疋 猿十疋 兔ニ疋  
 小ニニ 布十疋 山トリ三キレ三 丑ニ 八エ

東方川向長瀬枝村

高山十五里廿三丁

南方大白川向御母衣村ニ十丁 北方保木脇村一里十丁

村名義ハ大白川ノ水流ハイトクアラカハ激川ニテ、岩キリトホレ行水ノトヨメル

古歌ノ如クタギツ川内ナレ氏、上白川ノ水沓ニ落合、此村ニ流来テハ、平ラカ



如芋 白芋  
大角豆 胡瓜  
南瓜 艾葉  
ヤブアガヒ  
ヤマトリ三日月 稚子三日月  
鬼二足 熊二足  
猪三足 カニ三足  
獲十足 狐三足  
アユキハチ七百  
イハチ八百

ナル瀬ノミナレバ、如此名ツケシニヤ、

産土神八幡宮 東西 南北

常德教寺 東本願寺宗高山照蓮寺末  
永正十三丙子年開基

本尊阿弥陀如来  
境内屋敷五畝廿五步 除地

白山登攀路次九記 同僚山崎弘泰カ山分衣 白山ニ委シク記侍キ

平瀬村ヨリ大白川北岸 西入 榎ノ嶋 イハチ 出水山 イハチ 九ツ榎子 イハチ

桂谷 九木棧 桂農麻 十月ヨリ、日夜フリツモリタル大雪ノ翌春彼岸後、土上クソロキテ敷丈  
ツモリタル一時ニ崩レ落ルヲ、乃麻ト云、イカナル大木ニテ折テ落ル

魚槽步危 九木棧 廣河原 キノ 罫丸縮 九木棧 山ノ神堂

神鳴瀬 イハチ 岩窟谷 イハチ 宗衛門步危 イハチ 高小屋 平瀬村ヨリ三里

偶人嶺 ヒトカケノケ 八斛平 是ヨリ奥 真名子谷 イハチ 神助平 カムスケタヒラ 蓬 高八九尺

白水瀧 瓶子口長九二丈  
高九三百六十間 幅三間 平瀬村ヨリ滝ニテ六里強滝ヨリ  
上ラ白水谷滝ヨリ下ラ大白川ト云

大白川兩岸岩壁ニテ瀧ツボヘハ列リカクシ傍ノ險山ヲ攀登半

腹ニテ瀧ノ正面ニ直對 山分ニ 滝 詳ナリ 白水谷 水澁白ク濁レリ、俗ニ白山ノ神ハ  
白米ヲ洗モフ白水ナリト云、

湯ノ小屋 村民等タノノ  
来浴平瀬七里半 三温泉 白山  
多ニ湧出清潔イト愉快ナリトゾ  
平瀬ヨリ七里半三ツ尺四五間隔湧出

湯ノ俣山 平瀬村ヨリ八里モ有ベレ  
此山ニテハ草木繁茂 榎木湯 ナラモト  
眼病ソコニ吉 青海苔湯 赤氣諸  
病ニ吉

白遊湯 ヒセン湿瘡ニ吉

草 蓬 虎杖  
木 檜 黒檜 姫子 柵  
鳥



臭水史傳五ノ十八ハ  
和訓栞オカニ

黙

小蛇拔 シヤヌケ

臭水

アヤレク臭キ泉ニ此水  
手瀬村ニ流出ル片ハ必大雨降

地獄谷

硫黄

所ニ  
吹出

畜生谷

草柘植  
藤松

越國畧

賽河原

小石多カリ

空堂

是ヨリ本社ヘハ下  
藤松ハヒロゴレリ

頼鳥鳥群

○和訓栞ニ雷ノ鳥ハ越ノ白

山ニテ人希ニ見其形雌雄ノ如クニシテ文采少シ大明一統志ノ

松雞ト云リ或ハ鶉雞ニ作ル 後鳥羽天皇御製

白山ノ松ノ木カゲニカクロヒテユタカニスメルライノ鳥カナ

山分衣云

大御前本社

午未ニ向

戌

方 奥山

卯 方 別山

谷底ニ三池アリ、水色藍ノ如シ、池上ニ數百丈ノ高岩ニツアリ、

一ヲ寶ノ山ト云、一ヲ劔ノ山トヨフト云、○越前國誌ニ、白山絶

頂ノ眺望ハ、南ニ木曾御嶽

本州益田  
郡ノ国界

東南ニ槍嶽

本州吉城郡  
高原郷

東ニ立山

越中国  
新川郡

ヲ見、

○白山諸社

白山ハ絶頂ノ尾通り即國堺ニテ、東面ハ飛驒國ナリ、其正東ノ山腹

ヲ源ニテ、流出ル水ハ白水谷ヲ経テ、白水瀧ヨリ、大白川ト云、白川

ノ郷名モ、此白山ノ麓ナル村ニナレバ、名ニ負レトゾ、

○越前國誌

文化元年越前國九國  
文學關龍所撰書

卷ニ、大野郡山川部ニ、白山ハ、郡ノ東北

ニ在、越前、加賀、美濃、飛驒ノ四國ニ跨ル大山ナリ、中央ノ峯ヲ、大

御前ト云、南ノ峯ヲ、別山ト云、相去一三里、北ノ峯ヲ、大已貴ト云、

相去一里許、三峯氏ニ、柞木ナク岩石ナリ、云云、同卷四、大野郡



白山并三社大神及白山  
比咩神社考三郡神社  
考二記

白山三社大神考後風  
土記附録二出

神社部ニ、白山明神ハ、郡ノ東北、白山ノ巔ニ在、養老元年、僧

泰澄開ク處ナリ

サモアルベシ  
諸書皆同

元亨親書ヲ引クレド、

神道大意一、卷ニ出ル  
如ク親書ノ作者師鍊

偽リテ妄説  
多キ趣ナレハ

畧之、延喜式神名帳下、

文徳天皇御紀ハ、下ニ記スベシ、

白山一宮大御前ハ、天嶺ニ在、祭神伊弉丹尊、

二宮大己貴權現ハ、天嶺ノ北峰ニ在、祭神伊弉諾尊、

三宮別山大行事ハ、天嶺ノ南峰ニ在、祭神素戔鳥尊及天忍穗耳尊

神代鎮座傳曰、正哉吾勝、速日天忍穗耳尊、加賀國石川郡、白山

別宮又曰菊理媛神、加賀國石川郡、白山比咩神社ト見ユ

何レモ泰澄作ノ  
本地仏アリ畧之

此白山三峰ハ國界ニ峙立ルナルベシ此外

四宮金劔宮ハ加賀國鶴来村ニ在、祭神天瓊杵尊

鎮坐傳白山  
別宮劔社

五宮中宮御前ハ加賀國尾添村ニ在、祭神彦火、出見尊

同白山別宮  
加室皇子祠

六宮佐羅宮ハ加洲鶴来ヨリ本洲

越

牛首ニ至間ニ在、祭神鷓鴣

草葺不合尊

七宮岩本宮ハ加賀國別宮谷ニ在、祭神高皇靈尊

何レモ本地仏  
畧之

以上七社ト稱ス、別當平泉寺、勝山ノ東南ニ在、養老六年、

元正天皇詔有テ、白山ノ絶頂ニ三社ノ神殿ヲ造リ、麓ニ中宮ヲ造リ

テ僧坊ヲ置、平泉寺ト号、歷朝社領ヲ寄附セラレテ、九万貫ニ至

ルト云、壽永二年、木曾義仲、白山三峰ノ三社ヲ建

タラカハ  
ナレバ天正七年八月、

地獄谷ヨリ、火石ヲ雨ラレ、社壇及神體焼失、明年織田家ヨリ三社再

建、承應三年、前田家ノ造立、寛文二年、越前家増修云云

以上越  
前國誌



○和漢三才圖會卷七十地部

社領二百石 外又有三百石 平泉寺 六坊

越前國 金劔宮 瓊、杵尊

越南知 大己貴尊

白山五社 本宮 大御前 伊勢諾尊

加宝王子 火、出見尊

加賀國 在石川郡 社領二百石

白山祭神三所 伊勢丹尊

左菊理媛 右泉道守者 別當 東四箇寺 西四箇寺

元正天皇靈龜二年出現 神傳有少異說

如此越前ト加賀ト、國ヲ分テ出セシド、養老年中、僧泰澄ガ、初テ白山ヲ開シ頃ハ、越前國ニテ、イマダ加賀國ヲ分ラレサル前ノ一、泰澄ヲハレメ、其後ノ僧徒等、白山三峰ヨリ、麓ニ至ルテ、所ニ、諸ノ大神ヲ

齋祀リテ、本地仏ヲ附會シ、神仏兩部ノ靈場ト、諸人ヲ欺ケム、

然ルニ、弘仁十四年、越前國江沼加賀ノ二郡ヲ割テ加賀國ヲ置シテ

日本紀畧類聚三代格大日本史 後ハ源ヨリ水流ニ隨ヒテ、白山ハ加賀國ニツキレニヤ、

其後ノ國史ニハ、白山ニ祭レル アミタノ大神タチ 御名ヲハフキテ 伊勢丹尊、菊理媛

神ノ座ニ依テ、白山比咩神社トノミ記シテ、國史ヲサケラレタルナラム、

○文徳天皇御紀云、仁壽三年十月己卯、授加賀國、白山比咩神、從三位、

○清和天皇御紀云、貞觀元年正月廿七日甲申、奉授加賀國、白山比咩神、正三位、



○延喜式神名帳云、加賀國四十二座石川郡十座、並小白山比咩神社云、

ト見、然レバ本州ヒタノ三郡村ニ、勸請テ祭レル社、ウツレ三ナ如此稱奉ベキコト  
ニコソ、

○昔、越前ト加賀ト、國畧論アリテ、決ガタカリレ故ニ徳川家ニテハ

越前白山ト稱、其麓ノ村ミラハ、采上テ、是越前白山麓十六箇

加賀村ト唱テ、飛驒縣令ノ支配トセラレヌ、

古史傳六卷、三菊理比咩神云云、神名式ニ加賀國石川郡ニ白山比

咩神社ハ、菊理比咩神、東伊邪那岐命、西伊邪那美命、ナルヨレ書等

ニ見エタリ、何書ニ記シタルニカ不詳又玉禰五卷二十加賀國石川郡白

山比咩神社、一宮記云、下ノ社ハ伊弉冉尊ナド見エテ、何レモ延喜式神名

帳ニ據レリ、

稜威道別五卷、十三重遠云、加賀白山三所、中ニ菊理媛ヲ祭リ、東西

ニ諾冉ニ柱ヲ祭ルトアリ

越前山行  
山分









平瀬村山内  
白水滝 高三百六十間

白山の雪のした水みちきりて  
ふたふたに流とありん 礼者

消え川を時しおろしとどと残りも多ふ越乃白嶺と白川の里に  
 らいふたなくこしきま西の力らとひ十里むうりうとと連り急うあ  
 をるあまいふあま公事あまなるとしてそあうり力らのうら。雲つうかたて  
 ずうるぶと事あまのひうとく物とるぬ。これ白嶺しらねのいゆよあも。  
 らど遠ううぶあまいふあませつひでなをりゆきてかの山松まけの本もと産うぶ  
 とめりしてふあま榎えのちちとよゆゆこと。涉し銀ぎん力りき君きみのれいれいひひははくる  
 と明あくくりり取とて古屋ふるや秀しゆ世せととああまま出いぬぬ。高たか山のささとを  
 いで。そそここややここややと。ううききあありりつつら。ちちややけけ事ことどもどもききと  
 け。六月むいのろちちのに日ひ平瀬へいのせひひううららぬぬ。ははくくのの高たか嶺ねふ  
 ながんんぬぬ。ああううりりしてどど。ききううりりららんんぬぬととははつつととど。



























































とねど。そのもろい道に。せむの池頂<sup>イケンキ</sup>も道で。序前にぬら  
者<sup>ヲカニ</sup>を拜する。沙社<sup>シヤシロ</sup>ハ。年未のうた向<sup>ムキ</sup>。たせは。河の  
い<sup>イ</sup>とつらみあう。ちひは。い<sup>イ</sup>とつらみあう。とほし。  
乾<sup>カン</sup>方<sup>ホウ</sup>又<sup>マタ</sup>。奥<sup>ウチ</sup>のや<sup>ヤ</sup>り<sup>リ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>入<sup>イ</sup>嶺<sup>リョウ</sup>。う<sup>ウ</sup>め<sup>メ</sup>川<sup>カハ</sup>の方<sup>ホウ</sup>又<sup>マタ</sup>別<sup>ワケ</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>よ<sup>ヨ</sup>ね。  
あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>む<sup>ム</sup>と<sup>ト</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>て<sup>テ</sup>せ<sup>セ</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>て<sup>テ</sup>嶺<sup>リョウ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。沙社<sup>シヤシロ</sup>の  
う<sup>ウ</sup>ら<sup>ラ</sup>の方<sup>ホウ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。岩<sup>イハ</sup>まで<sup>マデ</sup>。  
今<sup>イマ</sup>も<sup>モ</sup>あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。岩<sup>イハ</sup>まで<sup>マデ</sup>。  
底<sup>ソコ</sup>も<sup>モ</sup>池<sup>イケ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。藍<sup>アイ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。  
た<sup>タ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。向<sup>ムカ</sup>の方<sup>ホウ</sup>  
あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。崩<sup>クズレ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。

あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。末<sup>スエ</sup>の<sup>ノ</sup>う<sup>ウ</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。  
あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。景<sup>ケイ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。  
あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。又<sup>マタ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。  
あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。実<sup>ミ</sup>地<sup>チ</sup>獄<sup>ク</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。  
あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。方<sup>ホウ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。  
あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。海<sup>ウミ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。  
あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。方<sup>ホウ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。  
あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。近<sup>チカ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。  
あ<sup>ア</sup>ら<sup>ラ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。中<sup>ナカ</sup>と<sup>ト</sup>い<sup>イ</sup>つ<sup>ツ</sup>ど<sup>ド</sup>あ<sup>ア</sup>ひ<sup>ヒ</sup>め<sup>メ</sup>て<sup>テ</sup>る<sup>ル</sup>。















繪本大圖記五卷  
 天正年中佐々成政  
 聖臣家北政所敵  
 ヤレハ越中立山所生  
 ノ黒百合ニヤ流殿  
 取ヨレラシハ即白  
 山形生ハ由ナリ也  
 百合トハ異ニシテ美  
 短カク源流此等ニ黒  
 色ヲ帯リ



天保十二年のころ月形めまきの  
 山崎弘泰と土屋秀世と大白川  
 志乃山ふの石をて整ふと  
 とらとゆまぬとて新洲の  
 彈余も人も

いかに  
 君がてあ  
 ながれ  
 礼彦

祁琉雪乃、其雪衰、伊踏奈豆美且登多知、見礼婆、尊志、白雲  
 毛、行波婆迦利天、梵麓倍迹、伊多知多大與比、遠近迹、八重伽左奈  
 礼琉、君羊山毛、都伽幣麻都琉止、冲津藻乃、奈備支與理都、天  
 曾、理多、志且、志奈佐伽琉、越乃白嶺波、阿夜迹尊志、  
 反歌  
 神代與理、零置琉雪乎、左奈我置迹、不消而所立、山者此山

天保十二年夏

山崎弘泰



黒百合ハ花六瓣、色濃紫色ナリ、一莖八寸、根小サキ百合アリ、莖道スカラ痛ミヌレバ、野ノ關屋ノ庭ニ植置シガ、枯ニテリ可惜事ニ

コソ、  
三方崩嶽

白山ノ前ニ峙立タル大嶽ニテ、是亦三峯トモニ、元崩テ谷ニハ、  
四時雪消ルナレドナリ、

大白川

南岸御母衣  
北岸平瀬村

白山、又三峯崩嶽ヨリ出、水源ヨリ九里流来テ

上白川ニ入テ北流

魚

白川

魚 前同

木谷村

高五石四斗二升

外高五石四斗二升九合 照蓮寺領

縦十町  
横二町

山林段別木數不詳

家七戸

人百四十餘人

産物 前同

大ニエ 硝石  
小ニエ 布十二疋

熊一疋 猪一疋 鈴羊三疋 猿一疋 狐一疋 兔一疋  
山鳥三 八五  
保木照村一里

東方山

西方川向 平瀬村

高十五里三十丁

南方長瀬枝村 稗田一里

北方谷

村名義ハ、此村ニハ、長峽谷トテ、イト深キ谷ニテ、古来檜黒檜

等ノ、上木蒼蔚ル谷アレバ、木谷ト称シ成ヘシ

米三石一斗  
稗五十七石二斗  
大麦二石二斗  
粟一石四斗  
大豆四石八斗  
小豆四斗八升  
粟四十六石六斗  
麻十石  
粟稻糠糠一石  
大五十六石八斗  
小五十六石八斗  
布十二疋  
縮筵十束  
絁三百疋  
バントリ三十領  
草シケ三ノ目  
平茸ハノ目  
大コシカブラ  
牛旁ナス  
畑芋 白芋  
胡瓜 南瓜



苧大角豆  
艾葉ヤアサ  
山ドリ三羽雉子三羽  
熊一疋 猪一疋  
カニ一疋 三疋サケ一疋  
狐二疋 ウサギ一疋  
アユ百 鱒八百  
石魚五百

産土神

○相撲最手

白真弓肥太右衛門長六尺八寸五分 木谷村与兵衛内 長男

ニテ 幼名勇吉 後奥右五門 生竹貞温淳ニテ、人ト争ハス、若年ニ其夕ケ至大ナルヲ人

皆見テ敬馬キヌ、アル日當村製衣ノ硝石ヲ、牛ニ負ハセ運シニ折節崖

路崩損テ、牛ハ得通、サリケレバ、奥右衛門其牛ヲ繫ギオキ、自荷

ト牛一駄荷ト、諸トモニ脊負テ、崖路ヲヤスラカニ経テ先村ニ送

着ヌ、重サ九 五十貫目 人見テ初テ其カラ知レリ、荷丁ニ出テ、荷ヲ負ニ

大人ノ篋ヲ荷ヘルカ如シ、嘉永ノ初、高山町人大坂屋ノ下男ニ成

本谷又、平日ハ米四斗 三俵ヲ負、人好メ、五俵脊負シテモアリシトゾ

○嘉永五壬子年、江戸ニ出テ、相撲最手俗ニ所謂ト成ス、

ナガラニ 長峽谷山 享保山繪圖林山帳 名郷谷トアル是也

草蓬 虎杖

木檜 黒檜 姫子

鳥 鷲 鵬

獸 熊 猪 麩羊

白川

魚 前同

一本 継引渡橋 長 白川ヘカケ渡

○龍神出湯日記 享保三年十一月 云阿茶初誓詞始メ、横濱ニ至リ



一、肘着とつゝ六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

○今日鈔卷之二

明治己巳年從六位下  
和泉掾源照矩撰著

云、安政元年正月十三日、亞墨利加

將、波理帥兵艦七艘六百數十人、來泊浦賀。云云二月十六日、幕府  
賜墨船物、中有米百斛、每苞入五斗、使角力等數十人授之、  
有白真弓者、躬舉八苞而運、頂戴其一苞、掌踊其一苞、小柳  
者亦墨人大、驚其力量、乃請與之角力、選最有力二人、共、小  
柳、小柳、揆一人、躍一人、揚一人、墨人咸拍掌、大歎賞、問譯人曰、  
彼輩多力、何以如此哉、曰、食日本美米、飲美酒、故也。

保木脇村

高十石四升七合

燒畑一町五段步

外三町步

享保十二年渡

縱三町  
横一町



米一石六斗  
 稻十六石  
 小麦四斗  
 小八斗  
 粟十三百五斗  
 麻四目烟草二十斤  
 粟 粟柄 粟  
 大五二ノ目  
 小五二ノ目  
 布五疋  
 綿三束  
 紐三十五疋  
 葛粉一石五斗  
 干平茸一ノ目  
 大コシカアラ  
 ニシシ 牛ボウ  
 白芋 大角豆  
 南瓜 艾葉  
 ヤアアガミ  
 カシノ三疋  
 ハユ七十  
 石製百

山林段別木數不詳

家六戸

人六十餘人

産物

前同 大五 葛粉一石五斗 羚羊三疋  
 小三 布五疋 アユ 八工

東方川向木谷村へ一里

西方山

南方平瀬村へ一里十丁

北方山川向野谷村へ一里

高山十八里

村名義ハ、ホキ歩危ノ傍ニアル村ナレバ、名ニ負ルナルベレ

○雅言集覽ニ、

山岨ノ危キ路ヲ、保伎遲ト云、ホキ頭禾子集ニ、

ワキモコハ木曾ノホキチニ住ハネド、ナド逢ノカタキレナラム

山家集

ヨレノ山ホキチツタヒニ尋ネ入テ、花ミレ春ハムカレカモ 西行

夫木志

危サニ人目ゾツネニヨカレケル、イハノカゲスホキノカケ路同

脇ハ腋ニ同ジ、腋上ノ地名、古事記書紀ヲ始メ、古書ニ多カリ、

産土神

歸雲山古城

後花園天皇御代、年曆不詳、信濃國松城住人楠氏ノ末葉ナル

内嶋將監橋為氏足利義政將軍ノ命ヲ奉テ、

照蓮寺記

白川ニ来リ、

甚威勢ヲ振ヒ、村ニヲ兼領シ、寛正ノ初、牧戸ニ城ヲ築キ住居

漸ニ村ニノ隨從ニ依テ、後亦、保木脇村歸雲山ニ城ヲ築テ、勢強ク

小鳥郷ハサラニ、越中國砺波郡川上郷ヲモ押領セリ、家臣ニハ、



山下尾神川尻等ノ勇士有テ破竹ノ勢ニ成、後土御門天皇御代  
文明七乙未年八月子息内島上野々雅氏ト諸共ニ討テ出、飯嶋村正  
蓮寺代明教ヲウチ亡シ、其兄三島將監教信ハ逐電セシカ是  
亦後ニ討取又ドソ、其後息上野々雅氏、家ヲ續タリシカ、同御代  
長亨二戊申年、本願寺蓮如ノ扱ニテ、内島ト照蓮寺蓮如正ヲ  
照ニ改明教  
ノ明心ト和熟シ、雅氏ノ女ヲ配偶明心ヲ塔トシケリ、其後雅氏ノ嫡男、  
兵庫頭氏理家ヲ繼、○飛州志ニ或書ニ云、天文十八年己酉飛驒國  
白川内嶋兵庫頭氏利理ノ女、美濃國郡上、東下野守常慶嫡子藤七郎  
常亮ニ嫁又、美濃國郡上城主東下野守平常縁ハ、東野州ト稱シ  
入道シテ素傳ト云リ、和歌ヲ善ス、常亮、其末ナルヘシ、○又三壺聞書  
加能越三國ノ事實ヲ  
記セル前田家ノ書ニ  
云、天正十三年十二月廿七日、越中國利波郡、木船城、大

地震ニテ、三丈バカリ震埋、故ニ、今石動ヘ引リ、此時飛驒國、阿古白川ト  
云、町在家三百餘軒ノ處、地震ニテ高山崩落、男女數百人、一人モ不殘、人  
家氏ニ三丈許土底ニ成テ、在所ノ上ハ、草木モナキ、荒山ト成又、上此時歸  
雲山ノ城郭、大地震ニテ、大山頽落、埋メ、内島氏理一族、主從男女僕婢、  
城下ノ人馬ニ至ニテ、不殘壓死シテ、内島家斷絶セリ、三代寛正年中ヨリ、世三  
代年八百二十餘年ニモ亡  
内嶋家系  
敏達天皇十八代後裔楠左衛門、佐從五位、上橘、正遠、大日本史ニ和曰、正遠、稱五郎、三男、和田  
和泉人、正成之族也、ト有此人歟、  
七郎正氏、末葉内島正堅男  
橘正季  
内嶋上野々

赤子氏  
内嶋五郎 上野々 住信濃國松城  
明德北朝 應永年中足利將軍ニ奉仕  
礼彦按ニ楠家代、和田氏其餘ニ至ルニテ、南朝ヘ至忠至誠、勤王ノ名家ニテナ



氏輝

伯耆守

氏豊

因幡守

辛万苦、南朝ヲ守衛シ、代ニ身命ヲ尽シ、防衛カレシ故、五十餘年、南朝立タリト稱スヘシ、然ルニ此内島ハ、同シ橘姓ナカラ、明德年中ヨリ、怨敵ノ足利家ニ、随順奉仕セシハ甚不審其意解シカタクシ、如此家系故、後代天正ノ末ニ至、地震ノ為ニ埋没セシハ天命トヤ云ヘカラム、

爲氏

上野公 豊後守 将監

白川郷ニ来リ、寛正ノ初、牧戸城ヲ築テ住、後又保木脇村、帰雲山ニ、城ヲ築テ住居シ、白川郷、小鳥郷ヲ領ス、文明七年乙未秋、正蓮寺明教ヲ責亡シ同十七乙巳年、三嶋将監ヲ討取、越中ノ國砺波郡川上郷ヲモ、押領セリ、

家臣 山下大和守 尾神備前守 川尻備中守 氏信

女子 早世

氏直 内膳正

女子 家臣 山下市右衛門 妻

雅氏

上野公 初源左衛門尉

長亨二戊申年照蓮寺明心ト和熟シセテ嫁

帰雲城主

氏教

河内守

女子

嘉念坊兼入 照蓮寺妻

氏理

兵庫頭

帰雲城主

女子 東藤七郎常亮妻

氏行 帰雲城ニテ埋没

氏則

下総守



女子 尾神備前守氏綱妻

氏房 玄蕃頭

氏親 主計助 母市村大膳女

歸雲城埋没之節袁呂三子生 外祖父大膳宅三子成長

氏俱 市村主水 天和二年中野住居

氏方 新右衛門 天正年中郡上八幡三行ヲ震災ヲ 免レタリ從金森出雲守可重朝臣 賜二百石

氏恒 次郎兵衛 相承前蹟 氏永 一郎左衛門 父氏恒死後浮浪而 不知所在

女子 本光寺妻 女子 一空妻

女子 栄了

女子 正圓妻

友方 醫師宗伯

右内嶋系圖ハ飛州志ニ載タルニ中野村市源右衛門一名云 光輪寺ノ系圖ヲ

増補ヤリ兵庫頭氏理ガ二弟一妹モ一同埋死力不詳源右衛門ハ

内嶋ノ後胤ト稱トイヘ氏光輪寺開基ハ延徳元年ニテ市村主水

祖母ノ生父市村大膳ハ誰ノ臣カ 主水ハ曾祖父ノ家名ヲ継シカ 天和二年中野村住居 光輪寺同居カ ヨリ百九十

四年以前ニテ光輪寺ノ方ハ古久且天和二年養子ト成レシレバ

外戚ノ系譜ニテ採用ニ不足故ニ中野村條下ニ畧之

弘化四丁未年四月大地震ニテ 信濃國越後國 大震災ト同時 保木脇村ノ後山崩落

村民宗左衛門并二戸舉家數十人土中壓死セリ

白川 魚 前全



野谷村

高四石二斗四升九合

山林段別木數不詳

家三戸

人二十餘人

産物 硝石

大繭 四ノ目  
小繭 十ノ目

布三疋 干狗脊

小レセニイ  
羚羊二疋  
ハエ 一ハナ

東方川

西方嶽

南方川向保木脇村一里

北方 大牧村ハ八丁  
大窪村ハ八丁

高山十九里

村名義ハ此村ノ奥山ヨリ荒谷テフ谷川流出テ少シ野ヲ経テ白川ニ

流落レバ野谷ト云ナルベシ

米三石六斗  
稗十石二斗  
大豆二石二斗  
小豆四斗  
粟千三百ノ目  
麻二ノ五百ノ目  
烟草三斤  
紫柿栗楢ヒヨビ  
大ニ四ノ目  
小三十八ノ目  
布三疋  
稲庭五束  
経四十目  
ゴドリ十領  
大ヨシカブラ  
牛蒡 白芋  
大角豆 南瓜  
艾葉 ヤブササミ  
カニシ、ニ足、ハコ  
イハナ百三十

焼畑五段歩

外一町歩

享保十二未年渡

縦三町  
横二十五間

産土神

淨蓮教寺

東本願寺宗高山照蓮寺末  
天文五丙申年開基

本尊阿弥陀如来

境内屋敷一段一步

元禄七甲戌年檢地名受道場四郎左衛門、  
同十二乙卯年除地其後寺号ヲ唱年代不詳、

一本 継引渡橋 長

荒谷川ハカケ渡郷中并越中國ヘノ往還路

野谷庄司

飛州志舊宅部ニ出セルハ不審、馬狩村ノ鹽尻嶽ニ

續キタル此村ノ荒谷山ノ一名モ、鹽尻ト云

シホラシヨウト云ハ、越中  
詞ニテ、下白川ニテモ皆シ

カイヘリ、尻ヲ下畧ハ、備中ノ  
後月郡ノ如ク省ケルユニ自然、庄司ノ如ク聞ユメリ、信夫庄司長田庄

司等ノノヲ思合テ、當昔ノ郷士ノ名ト思ヒテ、旧宅部ニ出セル

ナラム、岩山ニテ草木ナシ、



米三十四石  
稗二十八石  
大麥四石  
小麥一石四斗  
大豆十六石  
小豆二石一斗  
桑八百九十石  
紫柿粟稼植櫃  
大二貫八百目  
小二貫七十五目  
楢庭三十四束  
桂八十五束  
バビドリ二十領

葛粉一石三斗  
布十八疋  
麻苧十四目  
楮五ノ目  
烟草三十斤  
大根カブラ  
ニンジンゴボウ  
ナス 畑苧  
白苧 大角豆  
南瓜 艾草  
大薊  
カレシ 雜  
イハナ

白川

魚

鯿ニエ

石魚イハナ

鱒マス

年魚アユ

雜魚

大牧村オホウシ

高四十五石八斗二升

山林段別木數不詳

家十二戸

人百餘人

産物

前同

大ニ

葛粉一石三斗

羚羊一疋

小ニ

布十八疋

ハエ

イハナ

東方龍渡萩町村へ

西方山

高山十九里八丁

南方野谷村へ八丁

北方鳩谷村へ一里

城端十三里

村名義公白川ノ水流此村ニ至リ、處ニテ盤溜テ流ル、故方言ニ

只卷ニトノ 多卷トイヒシカ不詳、

産土神八幡宮

祭神應神天皇御靈

境内七畝十四歩 除地

竹籠渡 川東萩町地内通路ニ 御大綱長三十八間

白川

魚 前同



米百五石  
 稗二百三十石  
 大麥十石  
 小麥二十石五斗  
 大豆二十石二斗  
 小豆二十石五斗  
 粟七石五斗  
 蕎麥三石二斗  
 菜一石五斗  
 麻六十石  
 楮四十石  
 烟草百五十石  
 梨栗柿櫻桃李  
 大ニ二百廿日  
 小ニ二百廿日  
 布五十疋  
 稻蓮百二十束  
 串柿六十束  
 榿材楡ニルメロ

萩町村 ラギノチ  
 枝村 チカ  
 於呂 カロ  
 柳野 トガノ

高百三十七石一斗三升九合  
外高 照蓮寺領 別記  
 高二十三石五斗六升五合

山林段別木數不詳

家五十五戸

人三百九十餘人

産物 硝石 繭 九百廿日  
 布 七十五疋 細密布 ホレビニイ  
 干狗脊 木耳 漆 蠟燭 百斤

東方天生村 嶺越 四里十二丁  
葛粉十石

南方 菴渡 大牧村一里八丁

村名義ハ、萩野萩原萩生テフ、地名モ家名モ、諸國ニア一タアリ、此村モ

西方菴渡鳩谷村十八丁  
本道 高山十九里半 天生越十三里四丁 城端十三里

北方鳩村へ十八丁

トヨロ  
 葛粉十石ハントリ百六十石  
 繭九百目ラウク百斤  
 ワサビ三斗千草一斗目  
 千草十斗目  
 大コシカブラニニ  
 ブボウナス 烟草  
 白芋 大角豆  
 エンドウ 葱  
 南瓜 胡瓜  
 艾葉 大薊  
 レウア  
 山トリ五、カニニ足  
 ハ五百、イハ十、辛  
 雜魚

焼畑二町五段歩  
都テ此村近辺ヲ大郷ト云  
外五町歩 享保十二未年渡

本村高  
 新田高

縦十町十六間  
 横一町四十二間

當初萩ノ生シ地ヲ墾開テ、間路ヲ作りシ故、萩町 ラギノチ  
和訓栞ニ、町ハ間路ノ義ナ  
 ト云ナルベシ、町ハ日本紀三十段ヲ為町ト見エタリ、○此萩町鳩谷飯嶋ノ

三村ハ相向並テ平田多ク、稻ヲ作りテ、白川郷中人、府トモ云ベキ地  
ハエラ

ナレバ、大郷ト稱ストナリ、  
ダイカウ

枝村袁呂ハ、川西鳩谷村、寺ガ野ノ傍ニ在、名義ハ小サキ虫ノ數  
チカ  
 多生ル故、名ニ負ニヤ小虫ヲ、方言ニ袁呂ト云フハ、当郷ノ總説ニ記  
アフ

枝村柳野ハ、北方鳩村、堀ニ在、文政年中、新田ヲ開拓ケリ、  
トガノ

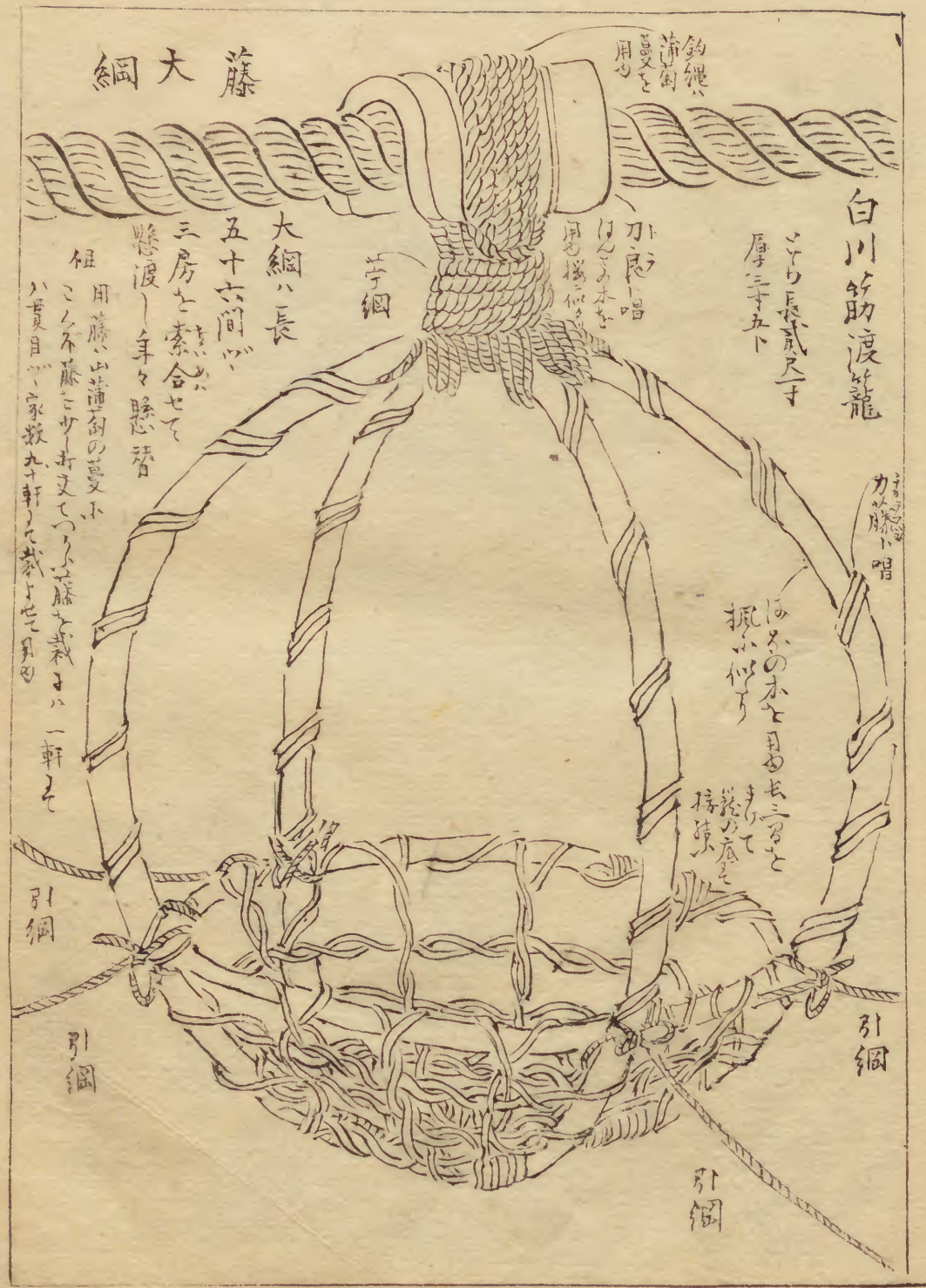
産土神八幡宮

祭神 應神天皇御靈  
 境内一町二段七畝廿九步 除地 祭日 氏子









藤大網

白川筋助渡籠

釣籠  
蒲旬  
用ひ  
カ長  
ひんみ水  
用ひ  
厚三寸五下  
大網ハ長  
五十六間  
三房と素合せて  
懸渡一々々懸替  
用藤ハ山浦向の蔓下  
こん不藤ハ少共更へつらん藤と裁ハ一軒と  
ハ貫目ハ家敷九十軒と裁とせ一月日

カハ藤ト唱

海の水を日長三寸と  
振らばり  
接底  
接底

引綱

引綱

引綱

引綱

鳥 鷲 鵬  
獸 熊 猪 麩羊

白川郷村々竹籠渡

白川郷  
牧村字野首籠渡 長瀬村之内温水  
大網五十間

同郷  
大牧村籠渡 萩町村通路  
大網長三十八間

同郷  
萩町村籠渡 高山ヨリ下白川村  
小白川口等へ用道大網五十六間

同郷  
椿原村籠渡 芦倉村  
有家原村 通路 大網三十間

同郷  
小白川村籠渡 越中往還 明治七年九月  
板橋 長九間 中六尺

同魚梁 白川年奠ハ、激川ユエ、國中無双香味  
トテ、高山町ニテモ、諸人賞美ス

タイガウ  
大郷村々 羊ミウツ ヨシナリ  
中切村、海上 中野 等八年ニヨリテ掛ルヨシ



白山









嶋村

高十石二斗二升三合

山林段別木數不詳

家六戸

人七十餘人

産物 前同

大三七ヤ目

クズノコ石五斗

楮十ヤ目

クラレニ足

サル一足

東方 牛首村へ坂越一里餘

西方川

本 高山廿里

南方 萩町村へ十八丁

北方山

天生十三里半ヨ

村名義ハ國號考ニ志麻トハ周廻ニ畧限ノアリテ一區ナル域ヲ云名ナリ

ト有如久此村モ隣村飯嶋トハ川ヲ隔テ牛首トハ山ヲ隔テ萩町トハ

米十五石  
稗三十三石  
大豆二石二斗  
小麥五斗  
大豆二石八斗  
小豆一石八斗  
粟一石二斗  
蕎麥一石二斗  
米三斗  
麻十五斗  
楮十五斗  
烟草三十五斗  
栗椹李ナレ柿榎ヨ  
大三七ヤ目  
小三七ヤ目  
布十五足  
稻筵三十束  
紐三百目ヲウツナリ  
葛粉一石五斗  
バントリ十五領  
大コシカブラ  
ニンジン牛房

ナス畑芋白芋  
大角豆ユンドウ  
葱胡瓜南瓜  
艾葉大薊レウブ  
カレシニ足根一足  
ハエ石象雜魚

焼畑一町歩

外二町歩

享保十二未年渡

縦一町八間  
横二十八間

野ヲ隔テ夕レバ自然一箇島ト云ベキ地理ナリ

産土神

牛首村

焼畑三町六段歩

外七町二段歩 享保十二未年渡

高五石五斗四升一合

縦五十七間  
横二十六間

山林段別木數不詳

家五戸

人四十餘人

産物 前同

大三七ヤ目

楮五貫目

山トリ五

クラレニ足

サルニ足

稗三十石二斗  
蕎麥一石六斗  
大豆一石四斗  
小豆四斗  
粟一石二斗  
米千四百目  
麻五斗  
楮五斗  
大二三七ヤ目



小一七ツソ目  
布五疋  
紐百目  
バントリ十領  
大二三本  
コホウ五十本  
白芋 大角豆  
葱胡瓜 南瓜  
艾葉 ヤニヤサ  
山ドリ 五羽  
カニレ、ニ足、サルニ足  
八二十 石葉五十

東方山

南方萩町村へ坂越一里

西方島村へ坂越一里

村名義ハ、越前加賀白山麓十六村ノ内ニモ、牛首村アリ、其ニ地勢似タルニヤ、

名義不詳、

産土神

牛首口関屋跡 口留番汚ト云  
越中国砺波郡水無焼榊村へ出

天正年中金森家國中平治ノ後四方出入ノ口ニ関ヲ建シ其一ナリ

此関ヲ隣村萩町村へ移セレハ

鳩ヶ谷村

高百十四石二斗三升九合

焼畑一町二畝廿四步

山林段別木數不詳

家十八戸

人百餘人

産物 前同

東方籠渡萩町村へ十八丁

西方山

南方大牧村へ一里

北方飯島村へ八丁

村名義未詳

米五十石八斗  
稗四十二石五斗  
大麥七石五斗  
小麥三石一斗  
大豆十七石二斗  
小豆一石七斗  
蕎麥一石七斗  
粟三十五百目  
麻十七目  
稻六十目  
烟草三十斤  
栗柿 桐木子、ルメロヒヨビ  
大二三目  
小一五目五十五目  
布十一疋  
紐百五十目  
ラウソク五斤 布十一疋  
葛粉 稻筵五十束  
バントリ十五領  
大コシカブラ  
ニンジン 牛蒡

大二三目  
小一五目五十五目  
クソノコ五石  
ラフソク五斤  
布十一疋  
ハエ  
サコ

縦五町  
横一町十間

此近辺ヲ大郷ト云

外二町五畝十八步 享保十二未年渡

高山十九里半



産土神

ナス葱畑芋  
白芋大角豆  
正三ドウ胡瓜  
南瓜艾葉  
大薊合法  
繼二十石魚二十  
トレヤウ五斗  
雜魚百三十

法蓮教寺

東本願寺宗高山照蓮寺末  
文龜三癸亥年開基

本尊阿弥陀如来

元禄七甲戌年檢地名受本覺坊

境内屋敷一段二畝廿四步

同十二巳卯年除地今寺号段レ年代不詳

鳩谷道場跡

寺カ野ニアリ

相傳昔親鸞ノ弟子善性ノ

初名周觀常陸國ニテ敷子ヲ儲

第二子ヲ善俊ト云

建保二年常陸國ニ生レ後伊豆國三島ニテ成長ト部某ト云

是亦親鸞ノ弟子ト成京ニ上リ師命ヲウケテ宗旨ヲ弘メム

為ニ美濃國郡上郡白鳥ニ来リ建長五癸丑年此鳩谷村寺カ

野ニ来テ一字ヲ結ヒ寓居セリ是ヲ鳩谷道場ト云二十餘年ノ後弘安年

中歳月未詳隣村飯島ニ移住シトシ○按ニ是ヨリ先

建久四年癸巳十月源右大将ノ命アリテ

多氏右邊將監

荒木郷ノ地頭職トナリ江馬氏ハ

承久三年辛巳北條義三遷シテ高原郷

ニ謫居ニテ國府ニ地頭隔タレバ畏憚ルナク況白川郷中ヲ主ル人

ナケレバ土民等年貢ヲ納ル方モナクテ頻年安閑茫然遊居ケル處ハ

善俊来リ村民ヲ集テ東海道三島函嶺ノ珍談京ノ繁華等ヲ言

キカセ其上極樂ノ百味飲食七宝莊嚴ノ宮殿ノ結構天女音樂微

妙歡喜ノトモ説キカセタラム世間ヲ知ラザル井蛙ノ愚民カハトテ

始メテ聞テ魂ヲ飛シ肝ヲ潰シテ終ニ化導サレ如何ハカリカ善俊ヲ

尊敬来拜シケム其躰傍ニ見ユルコチスメリ善俊為タリカホ顔ニテ

我ハ辱ケナクモ後鳥羽帝ノ皇孫ナリト言テ諸民ヲ欺キタ



ラム

正蓮寺再興跡 寺か野、古道場址ナルレ

飯嶋村正蓮寺、九代ノ住持明教が一子龜壽丸、ニ歳乳母ニ抱カレ逃去、  
越前ニテ成長、大坂へ出、本願寺蓮如ノ弟子トナリ、十五歳ノトキ、  
長亨二年、此鳩谷ヲ尋来リ、蓮如ノ扱書ヲ出シ、内島 為氏死後ノ事ナルヘレ  
雅氏ト和合シテ、雅氏ノ女ヲ妻トシ、鳩谷ニ暫時居シガ、門徒ノ  
勸ニ依テ、中野村ニ移ラムトテ、此鳩谷ノ一本杉ト云レ大木ヲ  
伐テ、牛ニ負セ、中野村ニ寺ヲ建テ、移住シトゾ、  
一本杉ハ、同祖善俊ガ手植ト云ハ、二百餘年ニ成ヌレバ、大木ト成ツラム、其ヲ牛ニオハセテ、險難崖路ヲ運ビ、他木ヲ用ヒズ、一本ノ杉ニテ、寺ヲ建レトハ、仏徒ノ例妄説ナラハ

飯嶋村 イヒシマ 枝村 シモガ 下田

高二百三十七石五斗六升七合 縦五町 横二町十間 本村 同二町 同二町十間 下田

焼畑五町四段三畝三歩 外十町八段六畝六歩 享保十二未年渡

山林段別木數不詳

家四十九戸

人三百五十餘人

産物 萩町村同 大ニ五百メ目 シスノコ三石 楮百廿メ目 山トリニクラレ、一足 小ニ五百メ目 ラソク三十斤 布平五足 アユ ニス ハエ

東方川 西方卒堵邊嶺越馬将村へ

南方鳩谷村へ八丁 北方枝村下田へ八丁下田ヨリ内ヶ戸へ一里

村名義ハ不詳、和名抄ニ、相摸國足下郡ト讚岐國香川郡トニ、飯

田郷有、今信濃國ニハ、飯田町モアリ、試ニ白サバ、此村ハ白川郷中ニテ、最上大村ニテ、

米百十九石八斗  
稗百五十石ヨ  
大麥十石八斗  
小麥二石五斗  
大豆三十石ヨ  
小豆二石五斗  
粟五石一斗  
蕎麥二石五斗  
粟一萬千五百五十目  
麻五十目  
楮百八十目 烟草百斤  
李子 梨 櫻桃 柿 桃 櫻 橘  
栗 榎 檜 榎  
大ニ二百メ目  
小ニ五百メ目  
布 四十五疋  
稻 二百二十束  
綾 六百目 ラソク三十斤  
葛粉 三石  
大ニカブラ ニニン  
牛蒡 ナス 葱  
畑 芋 白芋 大角豆



エドウ 胡瓜 南瓜  
艾草 ヤマアサミ 菘菜  
山トリ ニハカニヒニ  
ハユニ イハナシ  
籬魚 四十

平田多ク 他村ニテハ稗ノミ 米穀アニ夕取上レバ、年中ノ食物ニ不足  
クビチ タラヌ  
下ナクテ、然モ四隣村ニ界限ノアリテ、一區島ト云ル意ニテ飯嶋  
シカ ヨモノ アヤリ  
ノ名ニ負ルニヤ、  
ヒトツノ

産土神八幡宮

祭日 氏子

祭神 應神 天白玉御靈

境内ニ段歩

教勝教寺 東本願寺宗越中国 郡曾谷村本敬寺

本尊 阿弥陀如来

元禄七甲戌年、檢地名受、道場与次右五門  
同十二巳卯年除地、其後寺号ヲ唱年代不詳

境内一段一畝廿八歩  
此道場ハ、正蓮寺明教 文明七 亡後、三十年ヲ経テ開基  
乙未年

嘉念坊跡

建長年中ヨリ、僧善俊鳩谷道場ニテ、村民ヲ化導セシガ、珍ラレキニ

ヨリ、大ニ行ハレテ、參詣スル群集シケレバ、寺ガ野ニテハ、事タラ

ズヤ思ヒケム、弘安年中 善俊ハ弘安五年壬午三月三日宋トシ、  
飯嶋ニ移レハ、善俊カ其子善隆カ不詳 飯島村ニ

移住ス、其後、法談勸化イヨク用ヒラシ、九代正蓮寺明教ハ、殊ニ

愚民帰依シケレバ、文明七乙未年、長亨二年ト岷江記ニアレド、飛川  
志ト、心行坊縁起ニ合テバ、誤ナラズ 内嶋

為氏、甚嫉ミテ、不意押寄責詰ケレバ、明教ガ兄ハ、三嶋持監教信ハ、

切抜テ終ニ出奔シ、明教ハ當村ノ卒堵婆嶺ニテ、八月廿八日戦死

セシトシ 弘安年中、鳩谷ヨリ来住  
テヨリ、百九十餘年ニテ亡

横谷三段滝

西方三方岩嶽麓ニアリ  
東向 下流ハ下流ハ曲溪ニ入北流椿原ニ至テ白川ヘ注

飯島西方山内



一番滝 高六丈十間 中六尺  
 二番滝 高三丈五間 中六尺  
 三番滝 高四丈二尺七間 中六尺  
 各隔二二丁

大窪村 オホクボ

高六石一斗四升

山村段別木數不詳

家二戸

人二十餘人

産物 硝石

東方山

西方嶽

高山十九里餘

釋三石四斗  
 大豆三石二斗  
 小豆八斗  
 粟九百八十石  
 麻四石  
 黍四石  
 大二三石  
 小二三石  
 布五疋  
 烟草十三疋  
 葛粉五斗  
 絁三十疋

焼畑一町步

外二町步

享保十二未年渡

縦一町三十間  
 横一町

アヒカニ十五  
 菅筵三束  
 カハハキ三疋  
 大コニカブラ  
 ニンジン半旁  
 白茅大角豆  
 南瓜 艾葉  
 ヤアアサミ  
 カニレニ足  
 猿一足 籾十  
 石一

南方野谷村へ坂越八丁

北方馬村へ四丁

村名義ハ、村中ニ窪處アリテ、周百歩ノ池ト成、今モ大窪池トイヘリ、

其池水ハ曲村ヲ経テ、曲溪ヲ流レテ、椿原村ニ出テ、白川ニ流入レリ、

因名ニ負ケム、和名抄ニ河内ノ國茨田郡ノ郷名、大窪、於保、夕下野、

國足利郡、出羽ノ國出羽ノ郡ニモ、大窪郷見ユ、似タル地理ニヤ、

産土神

馬狩村 ウマガリ

高十五二斗五升

焼畑一町步

外二町步

享保十二未年渡



秤四十石  
 大豆一石六斗  
 大豆十一石余  
 粟二千三百四十石  
 麻九メ二百目  
 粟糶糶ヒヨビ  
 大ニ四メ五百目  
 小ニ五十八メ目  
 布十二疋  
 菅筵十束  
 紐五十目  
 葛粉一石九斗  
 カニハキ十足  
 大コシカケラ  
 ニンレン牛蒡  
 葱 大角豆  
 白芋 南瓜  
 艾葉 ヤニアサミ

山林段別木數不詳

縦二町二丁目  
 横二町十間

家八戸

人六十餘人

産物

前同 大ニ四メ五百目  
 小ニ五十八メ目  
 クスノコニ石九斗  
 スカムシロ十束  
 カニハキ十足

東方飯島村へ嶺越

西方嶽

南方大窪村へ四丁

椿原村  
 北方四十八瀬歩涉二里

村名義馬將ハ借字ニテ、曲村ノ義ナルベシ、○古事記下卷ニ、廣

國押建金日命、傳ニ後ノ漢様ノ御謚、坐勾之金箸宮治天下也、傳ニ勾ハ大和國廣

瀬郡ナルベシ和名抄ニ同郡ニ下勾郷アリ、此天皇ノ御名書紀ニ勾大尼、和名抄ニ河内

皇子トアレバ、本ヨリ此地ニ住居坐リレナリ、書紀ニ曲峽宮モアリ、○和訓栞ニ江州ニ

宝飲郡、望理郷、播磨國賀古郡、望理郷モアリ、○和訓栞ニ江州ニ

鈎里有、長亨元年、義尚コニ在陣ノ時、後土御門院、御製ヲ下サレケル、

君スバ人ノ心ノニガリヲモ、サコソハスグニ治メナスラメ、義尚返歌ヲ奏ス、

人心ニガリノ里ゾ名ノミセム、直ナル君ガ代ニツカヘナバ、云云此白川郷

中ノ道モ、川ニ浴テ、野谷村ヨリ直ニ、大牧、鳩ヶ谷、飯島ヲ行バ、平路テ

レ氏、内ヶ戸村ノ前後ノ歩危ノ崖路ノ險難ニ、諸人苦惱ニテ、荷ヲ負

タルハ、野谷村ヨリ、大窪曲勾ノ村へ、路ヲ曲リテ、椿原へ出レバ自然

道モ平易ケレバ、曲勾村ト唱レニヤアラム、古事記ニ大和國山辺ノ道、

産土神



信稱寺

東本願寺宗、高山照寺末、  
元和九年亥亥年開基西園

本尊阿彌陀如来

境内屋敷七畝十步

元禄七年戌年檢地名受道場与左二門  
同十二年卯年除地其後今寺号ヲ唱年月不詳

鹽尻嶽

土人此山ヲ曲塩尻

リヲ省キテ唱フル故、庄司ノ  
如クキコユルハ、訛レルナラム、

ト云リ、○伊勢物語

段ニ富士山ノコトヲナリハレホジリノヤウニテト有ラ、契沖法師ハ、

勢語臆斷ニ延喜式ニ、花形塩杯トイフ物、レホジリニテソレニ似

タルニヤ、八葉蓮花ニ似タリトイヘバ、花形ヲ思ヒヨセタリ云ミ、和

訓彙ニ、海人ノ潮垂ル、砂ヲ、タレ果テ後、打コボレタルヲ、鹽尻ト云、

今モ云詞、鹵塩也ト云リ、此山ハ、白山ノ麓、三方崩ニツ、キタル嶽ニテ、

半腹以上ハ、草木モ生ズ、常ニ雪ヲ戴ケル白、鹵塩ニ似タレハ鹽尻

ト云ルヲ、訛リテ下畧ルナルベレ、

三岩嶽

鹽尻嶽ニ同ク岩山ナリ

曲溪

四十八瀬

當村ヨリ、椿原村へ通フ路溪川ヲ數回涉レテ、椿原村ニ至レリ、

五月雨一タハ、炎天急雨ノ節ニハ、行人水ニ溺ル、一、年、有トゾ、



内ヶ戸村

高二石二斗四升六合

縦五十間  
横三十間

焼畑八段九畝十四步

外一町七段八畝廿八步

享保十二年渡

山林段別木數不詳

家三戸

人三十餘人

産物

前同 大ニニ斗目 葛根二石  
小ニニ斗目 布五疋 一ス 八エ

東方川

西方山

高山二十一里

南方飯嶋村下田へ一里

北方椿原村へ一里餘

村ノ名義ハ此村東方白川激流ノ高岸ニ臨ミテ住人家ニテ岸ニソヒテ  
通フ路モナケレバ三方險ケニキ山ノ包カ三周ラシタル故内之處ト名

稗三十三石四斗  
大麥八斗  
大豆二石五斗  
小豆七斗  
粟八斗  
荳蔻三石七斗  
菜三十五百目  
麻四目  
粟トナ楸ヒヨビ  
大ニニ斗目  
小ニニ斗目  
布五疋  
絁百疋  
葛粉二石  
大コシカアラ牛房  
物芋白芋大豆  
南瓜 艾菜  
鱈石魚

ツケレナルベシ然ル村故ニ南方飯島村ノ下田へ出ルニモ北方椿原村へ  
出ルニモ險難ノ山路ヲ上リツ打越テ通フ内之處歩危ト云テ  
諸人イトク苦ミテ福嶋歩危ニモカハラ又難所トテ越中城ヶ端歩  
荷モ此險路ヲ避テ曲溪ノ四十八瀬ヲ涉シテ美濃國へ往來スル  
ナリ

産土神

道場玄西屋敷六畝十六步元禄十二己卯年除地其後照蓮寺領萩町

村へ移住明善寺ト改年月不詳

白川



魚 前全

加須良村

焼畑一町步

縦一町三三間

外二町步

享保十二年渡

高四石三斗九升

山林段別木數不詳

家六戸

人六十餘人

産物

大ニ三十ノ目

小ニ二百五十ノ目

布三疋

東方

小白川村二里  
橋原村一里半

西方諸嶽

高山廿二里

稗四十五石三斗  
蕎麥二石五斗  
大豆三石五斗  
小豆一石一斗  
粟一石八斗  
大麥七斗  
束四十ノ目  
麻ニノ目  
トナ櫛  
大ニ三十ノ目  
小ニ二百五十ノ目  
布三疋  
経百三十目

南方馬狩村へ嶺越三里

北方 伐塞  
堰川

村名義ハ、加豆良

加須良ハ  
假字違ヒ

成へレ、其ハ隣村曲村ヨリハ、嶺ヲニツ越テ、路程

三里、小白川村へハ、川岸ハ路

モナケハ

險嶺ヲ越テ、路程二里隔タル、深山中、峻嶽下ノ

村ニテ、早霜深雪ニテ、穀物登ラズ、山蔬ヲノミ食ヒテ、世ヲ過ス山家ニテ、麻

モノビサレバ、葛カツラハ、藤カツラ等ニテ、布ヲ織テ、衣ル山民ナレハ、自然

加豆良テフ村名ニ負シナラム、國ノ境川ヲ隔テ、相對テ、越中加豆良

テフ村アリ、砺波郡也、彼方ヨリハ、此村ヲ飛驒加豆良ト云ト。

産土神

蓮受教寺

東本願寺宗加賀國 小辰野慶恩寺末  
文龜三癸亥年開基明道

大コシカブラ  
牛蒡ナス  
畑芋白芋  
南瓜艾葉  
ヤニアガミ  
カニニ足サルニ足  
ハエ五十石奥百



本尊阿弥陀如来  
境内屋敷五畝廿一步

元禄七甲戌年檢地名受道場五郎右卫門  
同十二巳卯年除地其後今ノ寺号ヲ唱年月不詳

二重滝 川尾嶽ニアリ東北ニ向テ落

上滝 高九十八間  
中六尺

下滝 高三十間  
中六尺

椿原村

高一石 外高十一石九斗八升二合 照蓮寺領

此村ト芦倉ト有家ヶ原トヲ山家ニヶ村ト云  
縦三町廿九間 横五十二間  
焼畑三町四段二畝廿四步 照蓮寺ノ納

山林段別木數不詳

家五戸

桿四十一石五斗  
大麥七石二斗  
大豆四石七斗

人四十餘人

産物 硝石 大 小 繭 布 漆 干狗脊  
三十三目 百八十七目 十七疋 二百十 四目 八五十五 廿コ

東方 有家ヶ原 一里 西方加須良ノ嶺越 一里半

南方 馬狩村へ 二里 城端九里  
内ヶ戸村へ 一里

村名義ハ此村ノ山ニモ原ニモ自然椿ノ多ニ生ル地ナレバ古レヘ村名ニ

負レナルベシ其花ノ盛ニハ灼燦コト言ニモノベカタレトナリ

白川ノ雪シキニハ椿原赤玉ナセル花ヤ咲ラム 礼彦

産土神

齋入教寺 東本願寺宗高山照蓮寺末  
永正元甲子年開基西園

小豆二石 粟四石五斗 黍八斗 粟七斗目 麻八斗目 楮二百十四目 煙草百二十斤 粟トチ楮ヒヨビ 大一二三三三目 小一二百八十七目 布十七疋 葛粉二石 ホレゼニイニメ五百目 干平草ニ目 大コシカアラ ナス半莖旁 細芋 白芋 大前豆南瓜 獨活艾葉 八五十五石魚四十五



本尊阿弥陀如来  
境内屋敷二畝十二步

小白川口關屋、小白川村ニ在レガ、天保五甲午年、類焼リ、其後此村ニ

關ヲ建ヌ、

篁渡 大綱長

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

有家ヶ原村

高一石一斗

外高五石二斗四升九合

照蓮寺領

山林段別木數不詳

家三戸

人五十餘人

産物

椿原二同

大五廿八百目

冬ノコ一石五斗

楮七十三メ二百目

東方山

西方椿原村へ篁渡十丁

高山廿二里ヨ

南方山

北方芦倉村へ八丁

村名義ハ此村ニ古レハ、心アル民アリテ、原ニ保食神ヲ、齋祀シ故ニ、食ケ

原ノ名ニヤ負ケム、木

白木

カフ

生ル、原テフ意ニハアラジ、

米 五石三斗  
稗 二十五石  
大麥 四石五斗  
粟 四石五斗  
大豆 三石七斗  
小豆 一石五升  
黍 四斗五升  
粟 四十八百五升  
麻 六メ五百目  
楮 七十三メ二百目  
畑草 四十五斤  
粟トナナラ  
大ニ廿八メ八百目  
小ニ二百六十三メ目ヨ  
布 十三疋  
紐 百半目  
干ゼンイニ目  
葛粉 一石五斗  
大コシカアラ  
ナス牛蒡  
細芋、白芋  
大前豆南瓜

山家ニヶ村ノ一

焼畑一町九段二畝十一歩 照蓮寺へ納







米十石  
 俾四十石  
 大麥八石  
 粟三石  
 大豆五石五斗  
 小豆二石  
 黍八石  
 粟二十七百廿目  
 麻九目  
 楮八十四目  
 烟草四十斤  
 粟三石五斗十廿三斗  
 大二十五目  
 小二十八目  
 布十九疋  
 楮八斗七五目  
 葛粉二石五斗  
 絁百五十目  
 大コカブラ  
 ナス半旁  
 畑芋白芋  
 大角豆南瓜  
 獨活 艾葉  
 猪一疋 八三六十  
 石魚五十

家九戸

人六十餘人

産物 前同 大ニエ十五貫目 クスノコ二石五斗 楮八十四目 猪二疋  
 小ニエ八十五貫目 布十九疋 八二

東方川向越中砺波郡楮村 西方加須良村へ嶺越二里

南方楮原村へ二里 北方堀川竜渡へ分越中砺波郡赤尾村へ  
高山廿四里 城端七里

村名義ハ加須良村ノ山奥ヨリ出ル川ト越中トノ境川ト何レモ荒川

ナリ平瀬村ノ大白川ニ對ヘテ小白川ノ流出ル村ト云ナルベシ

産土神

蓮光教寺 東本願寺宗高山照蓮寺末  
 明應年中開基

本尊阿弥陀如来

境内一段廿四步 除地

小白川口関 口留番所ト云 越中国砺波郡赤尾林へ出

天正年中金森家國中平治ノ後四方出入ノ口々ニ関ヲ建シ  
 其一也天保五年類焼其後楮原村ニ建



鷓鴣雄之圖

御集並山治百首

白山乃松の、くけくくひてや、

此鳥、羽、ら、の、多、く、非、後、帝、御、製、

雷鳥記

越之白山有鳥其名曰鷓鴣字出爾雅朱冠玄衣青趾白腹翅端帶白如鷓甚愛其子白山高寒四時常有雪頂下有坂曰五葉萬松環植數十里此鳥栖宿其間而未嘗他遊人所希見偶有觀者以為瑞云能除火災後鳥羽帝嘗有聖制衣和歌贈笑人口州家小武氏友梅翁世度奉山靈締廬山腹以休登陽者之勞上山者數矣竟獲觀之圖而傳之是景時風早中細言實種卿奉進上皇宮宜圖其像亭子室永以子之災亭免于燬屬者友梅奉頌卿孫實積卿厚以聖製題其上頓屬予記之云



山享保十四年三酉

雷鳥

銀華玉精光陸離白山之白一壓北陸山肩山腹全是雪太古以來無消期有鳥有鳥生其裏積陰所化頗靈奇短些甯堅於百鍊鋼食雷不異食銀蟻縞衣朱冠宛然是妙華誰寓昂昂姿疑是踏破層冰至使人一瞬覺生肌君不見白著塵民世或在人中之雷逞暴威



夏四月也

長胤謹書

京師儒士伊藤元藏号東涯

憾不把渠委鐵此角雷鳥雷鳥知不知

豐前村上剛大有

右雷鳥之七言古詩佛山堂中卷五十二出夕リ



萩町三瀑之圖

天生巖にて 礼者  
おひまや  
あやふのたけの  
不ふくたけ

おひまや  
あやふのたけ  
不ふくたけ

正西向  
高瀧 高十間  
巾六尺

あまの川せき  
あまの川せき  
あまの川せき

白橋を流

中之瀧 高九間  
巾六尺

木瀧 高六間  
巾六尺





